



2023年度前学期
静岡大学市民開放授業

募集要項・授業内容（シラバス）

Contents

前学期スケジュール	2
後学期スケジュール	3
1 市民開放授業の概要	4
市民開放授業とは	
実施形態	
2 受講までの流れ	6
Step1 授業内容（シラバス）を手に入れる	
Step2 受講したい授業を決める	
Step3 興味のある授業を試聴し、受講科目を確定する	
Step4 必要書類を提出する	
Step5 受講料を納入する	
Step6 受講証の確認、学務情報システムの利用申請をする	
受付・お問い合わせ先	
3 受講に際して	8
学務情報システム（資料印刷、課題提出等）	
通学方法	
大学からの連絡（休講・補講・教室変更）	
学生生活	
その他	
4 よくある質問Q&A	11
受講手続きについて	
受講料について	
授業について	
その他	
5 図書館の利用について	13
資料案内	
開館時間	
休館日	
利用にあたって	
サービス内容	
お問い合わせ先	
6 キャンパス案内図	16
静岡キャンパス	
浜松キャンパス	
7 市民開放授業科目一覧	18
表の見方	
シラバスの見方	
科目一覧	
授業内容（シラバス）一覧	
払込取扱票記入例	43
受講申込書	45
注意事項	46

2023年度 前期 スケジュール

4 月				5 月				6 月				7 月				8 月			
日	曜日	行事		日	曜日	行事		日	曜日	行事		日	曜日	行事		日	曜日	行事	
		前期	前期前半			前期	前期前半			前期	前期前半			前期	前期後半				
1	土			1 月	月2		月2	1 木	木	前期前半終了	木6	1 土	土			1 火	火		
2	日			2 火	火2		火2	2 金	金	前期前半終了	金6	2 日	日			2 水	水		
3	月			3 水		憲法記念日		3 土	土			3 月	月		月11	3 木	木		
4	火		入学式	4 木		みどりの日		4 日	日			4 火	火		火11	4 金	金		
5	水			5 金		こどもの日		5 月	月		月7	5 水	水		水11	5 土	土		
6	木			6 土		振替休日		6 火	火		火7	6 木	木		木11	6 日	日		
7	金			7 日				7 水	水		水7	7 金	金		金11	7 月	月		
8	土			8 月	月3		月3	8 木	木		木7	8 土	土			8 火	火		
9	日			9 火	火3		火3	9 金	金		金7	9 日	日			9 水	水		
10	月			10 水	水3		水3	10 土	土			10 月	月		月12	10 木	木		山の日
11	火			11 木	木3		木3	11 日	日			11 火	火		火12	11 金	金		
12	水		試験期間	12 金	金3		金3	12 月	月		月8	12 水	水		水12	12 土	土		
13	木		試験期間	13 土				13 火	火		火8	13 木	木		木12	13 日	日		
14	金		試験期間	14 日				14 水	水		水8	14 金	金		金12	14 月	月		
15	土			15 月	月4		月4	15 木	木		木8	15 土	土			15 火	火		
16	日			16 火	火4		火4	16 金	金		金8	16 日	日			16 水	水		
17	月		試験期間	17 水	水4		水4	17 土	土			17 火	火	海の日		17 木	木		
18	火		試験期間	18 木		全学一斉地震防災訓練	木4	18 日	日			18 火	火	前期終了	火13 前期後半終了	18 金	金		
19	水		水1	19 金	金4		金4	19 月	月		月9	19 水	水	前期終了	水13 前期後半終了	19 土	土		
20	木		木1	20 土				20 火	火		火9	20 木	木	前期終了	木13 前期後半終了	20 日	日		
21	金		金1	21 日				21 水	水		水9	21 金	金	前期終了	金13 前期後半終了	21 月	月		
22	土			22 月	月5		月5	22 木	木		木9	22 土	土			22 火	火		
23	日			23 火	火5		火5	23 金	金		金9	23 日	日			23 水	水		
24	月		月1	24 水	水5		水5	24 土	土			24 月	月	前期終了	月13 前期後半終了	24 木	木		
25	火		火1	25 木	木5		木5	25 日	日			25 火	火	前期試験		25 金	金		
26	水		水2	26 金	金5		金5	26 月	月		月10	26 水	水	前期試験		26 土	土		
27	木		受講料払込期限	27 土				27 火	火		火10	27 木	木	前期試験		27 日	日		
28	金		金2	28 日				28 水	水		水10	28 金	金	前期試験		28 月	月		
29	土			29 月	月6	昭和の日	月6	29 木	木	前期前半終了	木10	29 土	土			29 火	火		
30	日			30 火	火6		火6	30 金	金	前期前半終了	金10	30 日	日			30 水	水		
				31 水	水6		水6			前期前半終了		31 月	月	前期試験		31 木	木		

●学期別の授業回数

月	火	水	木	金
前期	13	13	13	13
後学期	13	13	13	13
通 年	27	27	27	27

市民開放授業受講生は期末試験に参加できませんが、教員の許可があれば参加することができます。

「通年」の場合は、10月の試験期間は、その期間は通常どおり授業を行いますので、授業の回数に含みます。

一部の科目は「前期後半」「前期前半」「前期後半」に分かれていますので、注意してください。

「前期後半」の試験期間及び受付期間は、別に設定していますので、注意してください。

☆ 学年暦

前 学 期 4 月 1 日～9 月 3 0 日
後 学 期 1 0 月 1 日～3 月 3 1 日

2023年度 後学期 スケジュール

2023年										2024年														
10 月					11 月					12 月					1 月					2 月				
日	曜日	行 事	日	曜日	行 事	日	曜日	行 事	日	曜日	行 事	日	曜日	行 事	日	曜日	行 事	日	曜日	行 事				
後学期・後学期前半			後学期・後学期前半			後学期・後学期前半			後学期・後学期前半			後学期・後学期前半			後学期・後学期前半			後学期・後学期前半						
1 日			1 水		水4	1 金		金7	↑	試験期間	1 月		元旦		1 木		後学期試験	1 木		後学期試験				
2 月		試験期間	2 木		木4	2 土					2 火				2 金		後学期試験	2 金		後学期試験				
3 火		試験期間	3 金		文化の日(大学祭)	3 日					3 日				3 水			3 土						
4 水		試験期間	4 土		大学祭(静岡)	4 月		月7		試験期間	4 月			対面授業なし	4 木			4 日						
5 木		試験期間	5 日		大学祭(静岡)	5 火		火9		火2	5 火			対面授業なし	5 金		後学期試験	5 月		後学期試験				
6 金		試験期間	6 月		金曜授業	6 水		水9		水2	6 水				6 土			6 火						
7 土			7 火		火5	7 木		木8		木1	7 木				7 金			7 火						
8 日			8 水		水5	8 金		金8		金1	8 金			成人の日	8 月			8 水						
9 月		スポーツの日	9 木		木5	9 土					9 土			月曜授業	9 火		月曜授業	9 金						
10 火			10 金		面キャンパスとも休講 対面授業等なし	10 日					10 日				10 水		水5	10 土						
11 水			11 土		テクノフェスタ・大学祭(浜松)	11 月		月8	↓	月1	11 月				11 木		木4	11 日		建国記念の日				
12 木			12 日		テクノフェスタ・大学祭(浜松)	12 火		火10		火3	12 火				12 金		金4	12 月						
13 金			13 月		月4	13 水		水10		水3	13 水				13 土			13 火						
14 土			14 火		火6	14 木		木9		木2	14 木				14 日			14 水						
15 日			15 水		水6	15 金		金9		金2	15 金				15 月		月4	15 木						
16 月			16 木		木6	16 土					16 土				16 火		火5	16 金						
17 火			17 金		金5	17 日					17 日				17 水		水13 後学期後期終了	17 土						
18 水		受講料払込期限	18 土			18 月		月9		月2	18 月				18 木		木5	18 日						
19 木			19 日			19 火		火11		火4	19 火				19 金		金5	19 月						
20 金			20 月		月5	20 水		水11		水4	20 水				20 土			20 火						
21 土			21 火		火7	21 木		木10		木3	21 木				21 日			21 水						
22 日			22 水		水7	22 金		金10		金3	22 金				22 月		月5	22 木						
23 月			23 木		勤労感謝の日	23 土					23 土				23 火		火13 後学期後期終了	23 金		天皇誕生日				
24 火			24 金		金6	24 日					24 日				24 水		補講(静岡・浜松)	24 土						
25 水			25 土			25 月		集中講義			25 月				25 木		木13 後学期後期終了	25 日						
26 木			26 日			26 火		集中講義			26 火				26 金		金13 後学期後期終了	26 月						
27 金			27 月		月6	27 水		集中講義			27 水				27 土			27 火						
28 土			28 火		火8	28 木		冬季一斉休業			28 木				28 日			28 水						
29 日			29 水		水8	29 金					29 金				29 月		月13 後学期後期終了	29 木						
30 月			30 木		木7	30 土		試験期間	↕		30 土				30 火		後学期試験							
31 火			31 日			31 日					31 日				31 水		後学期試験							

●学期別の授業回数

月	火	水	木	金
前学期	13	13	13	13
後学期	13	13	13	13
通 年	27	27	27	27

市民開放授業受講生は期末試験に参加できませんが、教員の許可があれば参加することができます。
「通年」の場合は、10月の試験期間は通常どおり授業を行いますので、授業の回数に含みます。
一部の科目は「後学期前半」・「後学期後半」に分かれていますので、注意してください。
「後学期後半」の試験期間及び受付期間は、別に設定していますので、注意してください。

☆ 学年暦
前 学 期 4 月 1 日～9 月 3 0 日
後 学 期 1 0 月 1 日～3 月 3 1 日

1 市民開放授業の概要

市民開放授業とは

■定義

静岡大学市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目の一部を一般市民の方に開放するもので、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、本学と地域社会の連携をより一層深めていくことを目的としたものです。

■特長

- ◇高等教育レベルの高度で体系的、先進的な内容を受講することができます。
- ◇大学の正規の授業科目を開放することから、大学での授業を理解するだけの学力を有していることを前提としています。ただし、高等学校などの卒業証明書の提出は必要ありません。
- ◇大学の正規の授業科目を受講していただきますが、**単位の認定は行いません**。したがって、単位認定試験は行いません。また、**修了証明書等の発行も行いません**。

実施形態

■開放科目

◇20ページの「市民開放授業科目一覧」をご覧ください。

注意

- ①市民開放授業科目一覧に掲載されていない科目は受講できません。
- ②集中講義、夜間主コース及び大学院は開放しません。

■開講期間・授業回数

前学期開講期間	2023年4月12日（水）～2023年7月24日（月）
	※前学期（後半）は、2023年6月5日（月）～7月24日（月）

- ◇講義の回数はおおむね半期14回ですが、科目によって回数が異なる場合があります。
- ◇市民開放授業では単位認定をしませんので、単位認定試験などの時間は、講義回数に含まれません。
- ◇教員の都合により休講になる場合があります。
- ◇**授業実施日については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等がありますので、必ず前学期スケジュール（P2）を確認してください。**

■時間割

◇授業時間は、次のとおりです。

時限	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
時間	8:40 } 10:10	10:20 } 11:50	12:45 } 14:15	14:25 } 15:55	16:05 } 17:35

■難易度

◇市民開放授業科目の難易度は、授業の内容に応じて、次の4段階に区分しています。ご自分の実力に適した授業をお選びください。

- (A) 入門的な内容で、高校卒業程度の学力を必要とします。〈大学1年次対象の授業に相当〉
- (B) より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となります。〈大学2～3年次対象の授業に相当〉
- (C) 高度な内容であり、当該専門分野について系統立った学習がなされていることを前提とするものです。〈大学3～4年次対象の授業に相当〉
- (D) 専門的な知識が必要なため、受講登録にあたり担当教員と面談を行います。〈大学3～4年次対象の授業に相当〉

■募集人員

- ◇1科目につき若干名とします。
- ◇正規の授業の一部を開放し、本学の学生と一緒に受講していただくため、本学の学生だけで講義室の収容人数を超える場合や、同じ科目に多数の応募があった場合には、受講できないことがあります。

■受講要件

- ◇本事業の趣旨を理解し、正規の学生と同等に取り組むことができる方であればどなたでも受講できます。学歴・資格は問いません。

■受講料

- ◇受講料は、市民開放授業科目一覧（P20）に記載されていますので、ご確認ください。
- ◇休講分の受講料は返金いたしません。

■テキスト

- ◇授業で使用する教科書等は、担当教員の指示に従って、受講生ご自身でご用意ください。教科書については生協書籍部で取り扱っていますので、市民開放授業の受講生である旨を伝え購入してください。
- ◇テキスト以外に講義資料をあらかじめ印刷しておくことが必要となる科目もあります（P8の学務情報システム参照）。
 - ※学務情報システムからダウンロードする資料は図書館のパソコンから印刷することができます（印刷代が必要です）。

2 受講までの流れ

Step1 授業内容（シラバス）を手に入れる

◇授業内容（シラバス）の入手方法は以下のとおりです。

- ①葉書・電話・FAX・メールでの請求…市民開放授業担当までご連絡いただければ、折り返し必要書類をお送りします（連絡先は次ページ参照）。
- ②来学での請求…市民開放授業担当までお越しください（場所はP16のキャンパス案内図参照）。
- ③インターネットからダウンロード…静岡大学市民開放授業のウェブサイト（https://www.LC.shizuoka.ac.jp/class_list.html）より、必要書類をダウンロードしてください。

Step2 受講したい授業を決める

◇募集要項と授業内容（シラバス）をよく読んで、受講したい授業を決めてください。

Step3 興味のある授業を試聴し、受講科目を確定する

◇試聴とは、受講生が受講科目を決定する際に、授業の概要を確認していただくために設定しているものです。期間中の初回に限り、開放する授業科目の講義は、自由に試聴できます。事前申込不要、途中入退室も可能です。試聴期間内に受講科目を確定し、受講申込書に科目番号・受講科目名・教員氏名を記入の上、担当教員から承認印を貰ってください（受講手続きについては、P11のよくある質問Q&A参照）。

試聴期間 2023年4月12日（水）～4月18日（火）
※前学期（後半）については、2023年6月5日（月）～6月9日（金）

◇承認印がないと受講できません。必ず受講料を振り込む前に印またはサインを貰ってください。

Step4 必要書類を提出する [提出期限 4月25日（火）]

◇下記書類を市民開放授業担当へ郵送または直接提出してください（提出先、受付時間等は次ページ参照）。

- ①受講申込書（P45、担当教員の承認印が押印済みのもの）
※6科目以上受講する場合は、受講申込書をコピーし記入してください。
- ②運転免許証、保険証等の氏名、現住所を確認できる書類の写し
※受講申込書裏面（P46）にあらかじめ貼付のこと。

受講申込期間 2023年4月12日（水）～4月25日（火）※締切日必着
※前学期（後半）については、2023年6月5日（月）～6月16日（金）

◇浜松キャンパスには受付窓口がありませんので、市民開放授業担当まで郵送してください。

Step5 受講料を納入する [払込期限 4月27日 (木)]

◇郵便局で、「払込取扱票」により受講料を振り込んでください。払込取扱票は、この募集要項の末尾にあります（記入例はP43）。

受講料払込期間 2023年4月12日（水）～4月27日（木）※払込期限厳守
※前学期（後半）については、2023年6月5日（月）～6月20日（火）

◇現金での納入はできません。現金を直接お持ちいただいたり、書留等で送付いただいてもお預かりすることができませんのでご注意ください。

◇授業で使用するテキスト代や授業に必要な資料印刷費、その他の費用は受講生の負担となり、受講料とは別となります。

◇休講等により担当教員の承認印が遅れる場合など、特別な事情で期限までに納入できない場合は、必ず市民開放授業担当までその旨ご連絡ください。

Step6 受講証の確認、学務情報システムの利用申請をする

◇入金確認後、受講証が送付されますので、手元に届き次第、確認してください。

◇受講証は、来学の際には必ず携帯してください。

◇申し込みされてから受講証が手元に届くまでの間は、担当教員に「受講証は発行手続き中である」旨を伝えて、受講してください。

◇受講する科目によっては学務情報システムを利用します（詳細はP8参照）。必要に応じて利用申請を行ってください。

受付・お問い合わせ先

■問い合わせ

地域創造教育センター市民開放授業担当（静岡キャンパス事務局別館2階）
☎054-238-4817 [平日9:30～12:30、13:30～16:00
(4/12～4/25のみ 9:30～12:30、13:30～16:30)]
e-mail : kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp
(住所) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

■浜松キャンパスでの授業（休講・補講・教室・授業内容）に関する問い合わせ

[授業実施期間中のみ]
浜松教務課共通教育係（S-Port1階） ☎053-478-1006

※お問い合わせの前に、必ずP11～12の「よくある質問Q&A」をお読みください。

3 受講に際して

学務情報システム（資料印刷、課題提出等）

■学務情報システムとは

◇本学の学生がインターネット上で履修登録や成績参照をするためのもので、資料の配布や課題提出、アンケートなどもこのシステムを使って行います。

[URL] <https://gakujo.shizuoka.ac.jp/portal/>

■利用について

◇授業によっては、担当教員から学務情報システムを利用して、授業の資料などを事前にダウンロードするように指示される場合があります。

◇システムの利用には静大IDおよびパスワードが必要となり、**静大IDの発行には受講申込とは別に申請が必要です。**

■登録手続き

◇利用登録の手続きは、静岡キャンパスでは市民開放授業担当（事務局別館2階）、浜松キャンパスでは浜松教務課共通教育係（S-Port1階）で行います。

■資料の印刷

◇IDの発行まで一週間程度かかります。手続き中に限り、資料印刷については上記窓口で対応します。

◇パソコンをお持ちでない方には、附属図書館に受講生も利用できるパソコンがあります（台数限定）。利用等については附属図書館のカウンターにお申し込みください。有料ですがダウンロードした資料の印刷もできます。

通学方法

■自動車での通学

◇自動車での通学は、原則としてできません。本学教職員の駐車スペースも確保が難しい状況であり学内に十分な駐車スペースがないこと、学内の交通安全と教育・研究環境を確保する必要があることなどから、公共交通機関をご利用ください。これに違反したトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承ください。

◇ただし、身体に障害があるなど特別な理由がある場合のみ、駐車許可証を発行します。駐車許可証の申請には、医師の診断書又は身体障害者手帳の提示が必要です。

◇近隣の駐車場の紹介・斡旋は行っていません。

■自転車・バイクでの通学

◇自転車・バイクでの通学は可能です。ただし、学内への乗り入れは禁止されていますので、必ず指定の駐輪場に置いてください。浜松キャンパスへ自転車、バイクで通学される方は、予め浜松学生支援課学生支援係窓口までご連絡ください（S-Port1階）。

◇ただし、身体に障害があるなど特別な理由で学内の移動が困難な場合には、駐車許可証（バイクのみ。自転車は不要）を発行していますので、市民開放授業担当までご相談ください。

■学割の利用

◇通学定期券、通学用割引回数券、学生専用バスカードの購入など学割の利用はできません。購入の際に必要な「学校学生生徒旅客運賃割引証」、「通学証明書」または「在学証明書」等の発行ができないためです。

大学からの連絡（休講・補講・教室変更）

来学の際は、必ず市民開放授業用の掲示板を確認してください。

■掲示板

- ◇休講、補講、教室変更の連絡を、各キャンパスにある市民開放授業用の掲示板に掲示します。場所は、静岡キャンパスは共通教育L棟掲示板、浜松キャンパスは教養教育掲示板です（P16～17参照）。
- ◇急な休講がある場合、上記掲示板での対応が間に合わない場合があります。静岡キャンパスでは共通教育B棟ピロティ電子掲示板に最新の休講情報が出ていますので、あわせてご確認ください（P16参照）。
- ◇現時点で教室が未定の授業は、教室決定後に掲示します。また、授業開始後も教室を変更することがありますので、必ず掲示板を確認するようにしてください。

■メールでのご連絡

- ◇大学からの連絡はメールで配信します。メールアドレスをお持ちの方は、必ず受講申込書に記入してください。過去にメールアドレスを記入していただいた方も、改めて記入するようにしてください。また、記入するメールアドレスは1つにしてください。
- ◇掲示板に掲示する内容の他、授業に関する連絡をメールで配信します（授業内容の補足、資料の準備の連絡等）。
- ◇携帯メールを記入される方は、大学からのメールが受信できるように設定をしてください（発信アドレス：gakujo@adb.shizuoka.ac.jp）。
- ◇メールアドレスの登録に時間がかかりますので、受講申込後約1週間はメール配信ができません。
- ◇電話による休講等の連絡は行っていません。
- ◇全ての休講連絡がメールで配信されるとは限りません。

■その他

- ◇自宅を出る前に天候不良等で授業が開講されるかどうか心配な場合は、教務課教務係（☎054-238-4327）へお問い合わせください。

学生生活

■図書館の利用

- ◇受講生は、図書館をご利用いただけます。市民開放授業の受講生には、受講証とは別に図書館利用票を発行します（受講申込から数日かかります）。特に手続きは不要です。各自、授業を受講するキャンパスの図書館に行き、カウンターで受講証等を提示し図書館利用票を受け取ってください（P13参照）。
- ◇利用方法は「図書館の利用について」（P13～15）を参照してください。
- ◇開館日・時間等は、図書館のホームページ（<https://www.lib.shizuoka.ac.jp/>）でもご案内しています。

静岡キャンパス：静岡大学附属図書館静岡本館 ☎054-238-4479
 浜松キャンパス：静岡大学附属図書館浜松分館 ☎053-478-1391

■生協の利用

- ◇受講生は、大学内の売店、食堂、生協を利用することができます。ただし、生協については、書籍・テキスト、CDなど、一部商品に組合員の割引価格が設定されています。組合員価格での購入には、組合員証の提示が必要となり、組合員証の交付には出資金等の手続きが必要です。組合員でない方には、定価販売

となります。詳しくは、下記の「静岡大学生生活協同組合」まで直接お問い合わせください。

◇フードショップ銀杏2階の休憩スペースも利用できます。

静岡大学生生活協同組合静岡キャンパス ☎054-237-2712

静岡大学生生活協同組合浜松キャンパス ☎053-473-4627

■一時保育施設の利用（静岡キャンパスのみ）

◇受講生は、本学構内にある多目的保育施設「たけのこ」を有料で利用することができます。生後8週間を経過した乳児から小学6年生までの児童の保育が可能です。授乳や搾乳ができるシャワー・トイレ・湯沸し室があります。

◇ご利用の際は、原則として利用希望日の3日前までに利用申込書（下記ウェブサイトからダウンロード可能）を男女共同参画推進室に持参・メール・FAXにて提出してください。その他、詳細については、下記の「静岡大学男女共同参画推進室」まで直接お問い合わせください。

静岡大学男女共同参画推進室（サッカー・ラグビー場隣）

☎054-238-3052・4346 FAX：054-238-3160

e-mail：takenoko@adb.shizuoka.ac.jp

<https://www.shizuoka.ac.jp/sankaku/itijihoku.html>

その他

■受講生の義務・注意

◇受講生は授業を受講するにあたって、授業担当教員及び本学関係者の指示に従うとともに、私語を交わしたり、騒音を発したり、その他講義を妨害するような行為をしてはいけません。

◇授業中は携帯電話の電源をお切りください。

◇授業中、録音・撮影をしてはいけません。

■受講の停止

◇受講生が、本学の秩序を乱したり受講生としてふさわしくない行為があった場合は、受講停止とすることもあります。

■損害賠償

◇受講生が故意または不注意により本学の施設、設備等を破損したときは、速やかに届け出るとともに、自己の責任においてこれを原状に回復し、またはその損害を賠償しなければなりません。

■連絡先の変更

◇連絡先に変更があった場合は、市民開放授業担当までご連絡をお願いします。

■受講生の呼び出し

◇受講生の呼び出しには対応できませんので、あらかじめご了承ください。

4 よくある質問 Q&A

受講手続きについて

Q1 受講資格は定められていますか？高等学校の卒業証明書などの提出は必要ですか？

(A) 大学の正規の授業科目を開放することから、大学での授業を理解するだけの学力を有していることを前提としていますが、特に受講資格は定めていません。また卒業証明書などの提出も必要ありません。本事業の趣旨をご理解いただき、正規の学生と同等に取り組むことができる方が受講してください。

Q2 希望する授業についていけるか心配です。具体的な難易度を教えてください。

(A) 難易度については、募集要項、授業内容（シラバス）に記載してありますのでそちらを参考にしてください。また試験期間中、開放する授業科目は自由に試験することができますので、期間内に各自で判断ください。

Q3 受入可能人数が若干名となっていますが何名ですか？申込多数の場合の選考方法を教えてください。

(A) 受入人数や希望者多数の場合の選考方法については、担当教員に一任しておりますので、各授業によって異なります。希望する授業の担当教員に直接おたずねください。

Q4 試験するには事前の申し込みが必要ですか？

(A) 事前申込は不要です。開放する授業の科目は、自由に試験できます。また、試験期間中に限り、途中の入退室も可能です。

Q5 どうしても初回の授業に出席できません。承認印は貰えませんか？

(A) 試験期間内に受講した人が優先となりますが、授業によっては定員に達していない場合、承認されることもありますので、担当教員に直接事情を話して相談してください（2回目の授業の時、または授業内容（シラバス）に記入されているオフィスアワーを利用）。

Q6 初回の授業が休講でしたがどうしたらいいですか？書類の送付が申込期間内に間に合わないと受講できませんか？受講料は先に振込んだ方がいいですか？

(A) 初回の授業が休講の場合、次回の授業が1回目の授業になりますので、その時に承認印を貰ってください。その場合には手続きが遅れても構いません。受講料は、必ず承認印を貰ってからお振り込みください。ただし、書類の送付及び受講料の振り込みが遅れる場合は、必ず市民開放授業担当までその旨ご連絡ください（連絡先は下記参照）。

Q7 申込受付は郵送のみですか？

(A) 直接大学にお持ちいただいても結構です。受付場所は下記の通りです。なお、浜松キャンパスには受付窓口がありませんので、市民開放授業担当まで郵送してください。授業内容（シラバス）も下記の場所配布しています。

地域創造教育センター市民開放授業担当（静岡キャンパス事務局別館2階）
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
☎054-238-4817 [平日9:30～12:30、13:30～16:00]
(4/12～4/25のみ 9:30～12:30、13:30～16:30)

受講料について

Q8 受講料にテキスト代は含まれますか。

- (A) 含まれません。授業に必要な図書・テキスト・資料のコピー代等は受講生の負担となります。
指定された教科書は、生協書籍部で販売していますので、各自で購入してください（P9～10参照）。
また、学務情報システムからダウンロードする資料は各自で印刷してください（P8参照）。

Q9 銀行振込や現金書留での支払いは可能ですか？直接現金を大学に持参してもいいですか？

- (A) お支払い方法は郵便振込のみです。大学に現金をお持ちいただいてもお預かりすることはできません。

Q10 振込受領証やそのコピーは送付しなくていいのですか？

- (A) 受講料の振込みは大学側で確認できますので、受領証やそのコピーの送付は不要です。受領証は、控えとして各自で保管してください。

授業について

Q11 レポートや課題の提出、単位認定試験は受けなければいけませんか？受けてはいけませんか？

- (A) 市民開放授業は単位の認定を行いませんので、原則としてレポートの提出やテスト、単位認定試験受験の必要はありません。ただ、これは提出、受験してはいけないということではありませんので、担当教員と相談、了承の上でしたら問題ありません。ただし、その場合も単位の取得はできません。

Q12 授業内容（シラバス）の内容と、実際の授業内容、進度が違うのはどうしてですか？休講になった回はすべて補講が行われますか？

- (A) 授業内容（シラバス）の内容はあくまで授業の予定や計画ですので、各担当教員の判断により、実際の授業とは内容や進度が異なる場合があります。また、講義の回数についても、おおむね半期（週1）14回となっていますが、これもあくまで目安ですので、各授業によって実際に開講される回数は異なります。休講や補講についても、各担当教員の判断となります。あらかじめご了承ください。

Q13 授業を休む場合は連絡が必要ですか？

- (A) 特に必要ありません。

Q14 台風等の場合は休講になりますか？

- (A) 大型の台風等の場合、大学全体で休講になることがあります。大学のホームページに掲載されることもあります。天候不良で開講されるか心配な場合は、教務課教務係（☎054-238-4327）へお問い合わせください。

その他

Q15 授業終了後、受講証は返却しなければいけませんか？

- (A) 返却の必要はありません。

5 図書館の利用について

静岡大学附属図書館は、静岡キャンパスの静岡本館、浜松キャンパスの浜松分館から構成され、そこには数多くの学習書や専門書、学術雑誌が所蔵されています。受講する科目についてさらに学習するため、あるいは生涯学習のため、この機会にぜひ図書館をご利用ください。図書館のホームページ (<https://www.lib.shizuoka.ac.jp/>) でもサービス内容をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策のため、開館時間やサービス内容が変更になる可能性があります。最新情報は、図書館ホームページでご確認ください。

資料案内

- ◇静岡大学附属図書館では、静岡本館に90万冊の図書と16,000タイトルの雑誌、浜松分館に30万冊の図書と4,400タイトルの雑誌を所蔵しています。その他にも、視聴覚資料、特別コレクション、マイクロ資料等があります。
- ◇これらの資料は図書館の閲覧室、書庫内にありますが、研究室に備え付けられているものもあります。

開館時間

※詳細は、図書館ホームページの開館カレンダーでご確認ください。

- ◇平日…9:00～20:00（試験対応期間は9:00～21:00、夏休み等の休業期間中は9:00～17:00）
- ◇土曜…10:00～17:00（試験対応期間は9:00～21:00）
- ※試験対応期間については日曜・祝日も9:00～21:00で開館します

休館日

- ◇日曜・祝日（試験対応期間を除く）、年末年始、3月の土曜、大学入学試験日、蔵書点検期間、その他臨時休館日（館内掲示、ホームページなどでお知らせします）

利用にあたって

■図書館利用票

- ◇必ず図書館利用票をご持参ください。入館・退館時に必要です。また、図書の貸出、ネットワーク使用の手続きの際にも必要です。
- ◇図書館利用票は、静岡本館、浜松分館の両方で使うことができます。

■図書館利用票の受取方法

- ◇図書館利用票は市民開放授業受講申込後に図書館で発行します。受講する授業が開講されるキャンパスの図書館カウンターで、受講証等（※）を提示し受け取ってください。なお、図書館利用票の発行は、受講申込から数日かかりますので、ご了承ください。
- （※）受講証、身分証明書（氏名、現住所が確認できる書類）、受講申込書の写しのいずれか。
- ◇静岡・浜松の両キャンパスで授業を受講される方は、原則として静岡本館で発行します。浜松分館で受け取りたい方は、事前に静岡本館までご連絡ください（☎054-238-4479）。

サービス内容

◇平日17:00以降および休日の開館時は、窓口のサービス内容が縮小されますのでご注意ください。

事項	静岡キャンパス（静岡本館）	浜松キャンパス（浜松分館）
閲覧	館内3～5階の閲覧室にある図書・雑誌は自由に利用できます。利用後は元の位置に戻してください。	1～3階の開架図書・開架雑誌は自由に利用できます。利用後は元の位置に戻してください。
	書庫内資料を利用する場合は、学内所蔵検索（OPAC）で確認のうえ、「資料請求票」に記入し、サービスカウンターに申し込んでください。書庫内資料の出納時間は平日9:00～16:45です。土日祝日に来館して書庫内資料を利用されたい場合は、平日9:00～17:00に問い合わせ先へ連絡をお願いします。	書庫内資料を利用する場合は、学内所蔵検索（OPAC）で確認のうえ、「資料請求票」に記入し、カウンターに申し込んでください。書庫内資料の出納時間は平日9:00～12:30、13:30～17:00です。平日の夜間、土日祝日に来館して書庫内資料を利用されたい場合は、平日9:00～17:00に問い合わせ先へ連絡をお願いします。
	研究室備付となっている資料は利用できません。	
	図書館内配架資料であっても一部ご利用できないものがあります。	
貸出	4階・5階の開架図書および書庫内図書が対象となります。	1階・2階の開架図書、書庫内図書が対象となります。
	貸出を希望する図書と図書館利用票を持参してサービスカウンターで手続きをしてください。	貸出を希望する図書と図書館利用票を持参してカウンターで手続きをしてください。
	浜松分館所蔵の図書を取り寄せることができます。取り寄せのできる図書は、浜松分館の開架図書および書庫内図書です。サービスカウンターに申し込んでください。	静岡本館所蔵の図書を取り寄せることができます。取り寄せのできる図書は、静岡本館の開架図書および書庫内図書です。カウンターに申し込んでください。
	貸出し期間の延長（手続日よりさらに2週間貸出可能）は予約がない場合に限り、1度だけ可能です。サービスカウンターに申し込んでください。	貸出し期間の延長（手続日よりさらに2週間貸出可能）は予約がない場合に限り、1度だけ可能です。カウンターに申し込んでください。
	参考図書（辞書・事典・統計類等）や雑誌の貸出しはできません。	
	貸出冊数は3冊まで、貸出期間は2週間です。	
返却	サービスカウンターに返却してください。	カウンターに返却してください。
	図書館閉館時は、正面玄関右脇の返却ポストに入れてください。	図書館閉館時は、正面玄関横のブックポストに入れてください。
	返却期限日を過ぎると、遅れた日数分だけ貸出が停止されますのでご注意ください。	

事項	静岡キャンパス（静岡本館）	浜松キャンパス（浜松分館）
館内コピー機の利用	コピー機は4階閲覧室に2台設置しています（1台はプリペイドカード、1台はコイン式）。	コピー機は1階閲覧室に1台（コイン式）と2階S-Port東側エリアに1台（プリペイドカード式）を設置しています。
	料金は、白黒は1枚10円、カラーは1枚50円です（図書館では両替をしませんので、小銭をご用意ください）。	
	複写する時は、著作権法の定めに基づき以下のことに注意してください。 ①図書館所蔵資料のみが対象です（自分のノート、レポート等は不可）。 ②「複写申込書」に記入してから複写してください。 ③1人1部、資料の一部分を複写できます。雑誌の最新号は複写できません。	
レファレンスサービス	レファレンスカウンターでは、図書館の利用、資料の探し方などについての質問にお答えしています。	カウンターでは、図書館の利用、資料の探し方などについての質問にお答えしています。
	対応時間は、平日9:00～12:30、13:30～17:00（休日は対応なし）です。	
	本学図書館を通じて、県内公共図書館からの図書の取り寄せができます。他大学からの取り寄せはできません。	
利用者用パソコン	4階レファレンスカウンター横には利用者用パソコンが設置してあります。学術情報検索にのみ利用できます。	1階カウンターに利用者用パソコンが設置してあります。学術情報検索にのみ利用できます。
	ネットワーク利用の際は、認証のためのID、パスワードが必要です。サービスカウンターに申し出てください（学内所蔵資料の検索については、ID、パスワードは不要です。各フロアに検索専用のパソコンがあります）。	ネットワーク利用の際は、平日9:00～17:00にカウンターに申し出てください（学内所蔵資料の検索については、各フロアに検索専用のパソコンがあります）。
注意事項	携帯電話での通話、私語はご遠慮ください。貴重品は常に携帯してください。他の利用者の迷惑になるような行為は慎んでください。閲覧室では水筒（中身は水またはお茶のみ）の使用ができます。	
	図書を亡失または汚損した場合は、弁償していただくことがあります。	

お問い合わせ先

■静岡キャンパス

◇静岡大学附属図書館静岡本館 利用サービス係

☎054-238-4479 e-mail: lib-infsrv@adb.shizuoka.ac.jp

■浜松キャンパス

◇静岡大学附属図書館浜松分館 分館サービス係

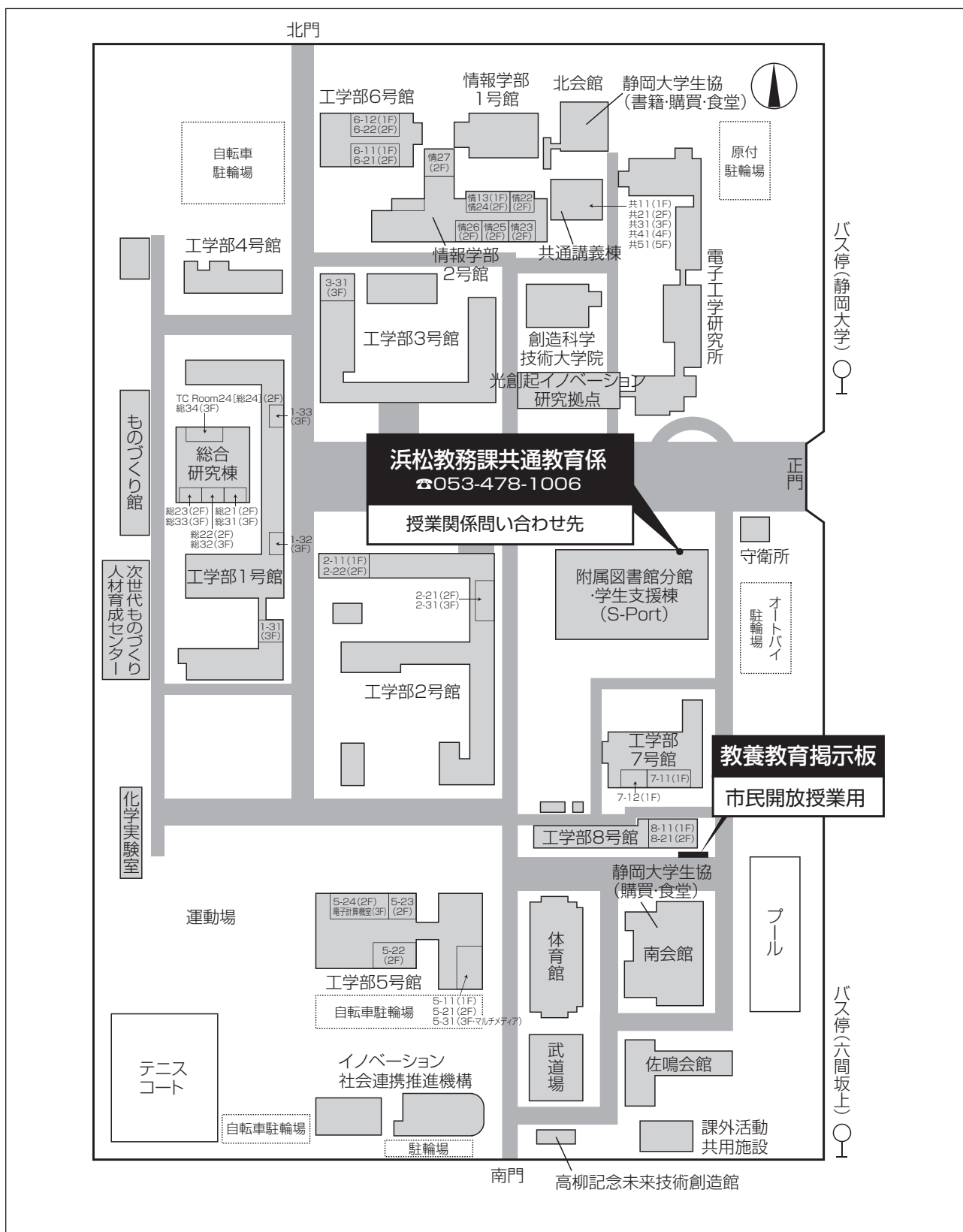
☎053-478-1391 e-mail: lib-hama@adb.shizuoka.ac.jp

6 キャンパス案内図

静岡キャンパス



浜松キャンパス



7 市民開放授業科目

表の見方

■No.

◇科目番号です。市民開放授業で開放されている科目に割り振られた番号で、授業内容（シラバス）の下端にある番号と一致しています。受講申込書や払込取扱票にはこの番号を記入します。

■学部等

◇授業を実施している学部等を指します。

■時間割

◇授業時間は、次のとおりです。

時限	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
時間	8:40 } 10:10	10:20 } 11:50	12:45 } 14:15	14:25 } 15:55	16:05 } 17:35

■教室名

◇静岡キャンパス

- ・共＝共通教育棟、人＝人文社会科学部棟、教＝教育学部棟、理＝理学部棟の略です。
- ・アルファベットは、それぞれの棟を表します。たとえば、「共A201」は、共通教育A棟201教室のことを指します。

◇浜松キャンパス

- ・工1～8＝工学部1～8号館の略です。

※授業開始当初は、受講学生数等により教室を変更する場合がありますので、掲示に注意してください。

■受入可能人数

◇1科目につき若干名とします。

◇受講の可否については、教員の判断に委ねられますので、担当教員に確認してください（P11のよくある質問Q&A参照）。

◇正規の授業の一部を開放し、本学の学生と一緒に受講していただくため、本学の学生だけで講義室の収容人数を超える場合や、同じ科目に多数の応募があった場合には、受講できないことがあります。

■難易度

◇市民開放授業科目の難易度は、授業の内容に応じて、次の4段階に区分しています。ご自分の実力に適した授業をお選びください。

- (A) 入門的な内容で、高校卒業程度の学力を必要とします。〈大学1年次対象の授業に相当〉
- (B) より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となります。〈大学2～3年次対象の授業に相当〉
- (C) 高度な内容であり、当該専門分野について系統立った学習がなされていることを前提とするものです。〈大学3～4年次対象の授業に相当〉
- (D) 専門的な知識が必要なため、受講登録にあたり担当教員と面談を行います。〈大学3～4年次対象の授業に相当〉

シラバスの見方

■授業の目標、学習内容、授業計画

◇これらを参考に受講したい科目を探してください。

■受講要件

◇要件を満たしているかご確認ください。

■オフィスアワー

◇教員が学生の質問や相談を受けるために、特定の場所で待機する時間のことです。会議等、特別な用事がないかぎり、ここに記された場所・時間に教員と直接会うことができます。

■科目番号

◇市民開放授業で開放されている科目に割り振られた番号です。受講申込書や払込取扱票に記入する番号です。

科目一覧には2023年2月末時点の情報を掲載していますので、内容に変更がある可能性があります。最新情報は、静岡大学ウェブサイトでご覧いただけます。(https://www.LC.shizuoka.ac.jp/class_list.html)

科目一覧

〔静岡キャンパス〕

〈前学期〉

No.	学部等	授業科目名	(代表)担当教員名	学期	曜日・ 時限	教室名	受入可 能人数	難易度	講習料
1	全学	初修外国語(ドイツ語)入門Ⅱ	大藺 正彦	前学期	水5・6	共A101	若干名	A	9,700円
2	全学	人間環境と分子科学	大吉 崇文	前学期	金3・4	共L306	若干名	A	9,700円
3	全学	地域の人と文字文化	杉崎 哲子	前学期	月5・6	共B301	若干名	A	9,700円
4	全学	心理学	須藤 智	前学期	火3・4	人E201	若干名	A	9,700円
5	全学	哲学	竹之内 裕文	前学期	火3・4	共B301	若干名	A	9,700円
6	全学	生命科学	徳岡 徹	前学期	月5・6	共D3	若干名	A	9,700円
7	人文社会科学部	ドイツ語コミュニケーションⅡ	大藺 正彦	前学期	金3・4	未定	若干名	B	9,700円
8	人文社会科学部	経営情報論	伊東 暁人	前学期	火5・6	共L414	若干名	C	9,700円
9	教育学部	書写基礎(A組)	杉崎 哲子	前学期	月9・10	教A601	若干名	A	9,700円
10	教育学部	書写基礎(B組)	杉崎 哲子	前学期	木1・2	教A601	若干名	A	9,700円
11	教育学部	書写研究(A組)	杉崎 哲子	前学期	火9・10	教A601	若干名	A	9,700円
12	教育学部	書文化制作実践(学環)	杉崎 哲子	前学期	水5・6	教A601	若干名	A	9,700円
13	理学部	基礎物理学Ⅰ	松本 正茂	前学期(前半)	水5・6	理B211	若干名	A	9,700円
					金3・4	理B211	若干名	A	
14	理学部	基礎物理学Ⅱ	松本 正茂	前学期(後半)	水5・6	理B211	若干名	A	9,700円
					金3・4	理B211	若干名	A	
15	理学部	動物発生学Ⅰ	徳元 俊伸	前学期(前半)	月3・4	理B202	若干名	B	6,900円
16	理学部	動物発生学Ⅱ	徳元 俊伸	前学期	火3・4	理B212	若干名	C	9,700円
17	理学部	生化学	天野 豊己	前学期	火1・2	理B212	若干名	B	9,700円
18	理学部	植物系統分類学	徳岡 徹	前学期	水3・4	理B203	若干名	B	9,700円

〔浜松キャンパス〕

〈前学期〉

No.	学部等	授業科目名	(代表)担当教員名	学期	曜日・ 時限	教室名	受入可 能人数	難易度	講習料
19	全学	こころの深層	太田 裕一	前学期	金3・4	工1-31	若干名	A	9,700円
20	全学	浜松市の交通と観光を考える	戸田 三津夫	前学期	金3・4	工2-21	若干名	B	9,700円
21	全学	生物と環境	戸田 三津夫	前学期	火1・2	工5-11	若干名	B	9,700円

A 入門的な内容であり、高校卒業程度の学力を必要とするもの(大学1年次対象の授業)

B より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの(大学2～3年次対象の授業)

C 高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの(大学3～4年次対象の授業)

※演習の難易度は「D」になります。

D 専門的な知識が必要なため、履修登録にあたり担当教員と面談を行う。(大学3～4年次対象の授業)

授業内容（シラバス）一覧

授業科目名	初修外国語（ドイツ語）入門Ⅱ (Basic German Ⅱ)					
担当教員名	大藁 正彦 (OZONO Masahiko)		所属等	学術院人文社会科学領域		
			研究室	人文 A 棟 4 2 3		
分担教員名						
クラス	人 2	学期	前期		必修選択区分	—
対象学年	1 年	単位数	1	曜日・時限	水 5・6	
キーワード	ドイツ語、ドイツ文化、言語運用能力、多文化理解、文法					
授業の目標	読む・書く・聞く・話すという 4 技能のバランスに配慮して、ドイツ語の基礎的運用能力を身につける。また、英語以外の外国語を学ぶことで、文化を多元的に理解できるようになる。					
学習内容	教科書の内容に沿って学習していきます。原則として 2 回の授業で 1 課ずつ進めます。各課は、大きく「ダイアログ」「文法説明」「練習」「補足」から成ります。授業では、個々の項目ごとに練習、小テストなどを織り交ぜながら進めていきます。また、折に触れ、さまざまなドイツ事情についても紹介します。					
授業計画	1. つづりの読み方と発音 2. Lektion 1. Morgens trinkt Anna immer Kaffee. 3. 文法：動詞の人称変化 4. Lektion 2. Der Baum ist groß. 5. 文法：名詞の性・数・格 6. Lektion 3. Helga denkt, dass Japaner immer einen Kimono tragen. 7. 文法：前置詞・接続詞 8. まとめと復習（1）：Lektion 1-3, 中間試験（授業時試験） 9. Lektion 4. Sabine freut sich über das Geschenk. 10. 文法：人称代名詞・再帰代名詞・再帰動詞 11. Lektion 5. Herr Müller hat kein Auto. 12. 文法：冠詞類 13. Lektion 6. Der kleine Hund heißt Waldi. 14. まとめと復習（2）：Lektion 4-6, 次学期の学習へ向けて（オンライン授業回） 15. 文法：形容詞の格変化・比較変化 16. 期末試験					
受講要件	クラス指定に従って履修してください。					
テキスト	大藁正彦『総合学習・異文化理解のドイツ語 改訂版』朝日出版社（2,500 円＋税）					
参考書	独和辞典は必携です。初回の授業で紹介します。					
予習・復習について	授業 1 回あたり，1 時間～1 時間半の授業外学習が前提です。					
成績評価の方法・基準	筆記試験の成績（80％）と平常点（20％）をもとに評価します。平常点は，原則として毎回行う小テストの結果に授業への参加状況を加味して評価します。正当な理由なく 3 分の 1 以上欠席した場合は成績評価の対象外となります。					
オフィスアワー	金曜日昼休み					
担当教員からのメッセージ	いろんな人がいて，いろんな言葉があつて，いろんな文化がある。だから，おもしろい。					

授業科目名	人間環境と分子科学 (Molecular Science in the Human Environment)					
担当教員名	大吉 崇文 (OYOSHI Takanori)		所属等	学術院理学領域		
			研究室	大吉研究室（理学部A棟 310）		
分担教員名	山本 歩					
クラス	学部共通 1	学期	前期		必修選択区分	選択
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	金 3・4	
キーワード	分子科学、環境、健康、薬学入門、がん					
授業の目標	人間をとりまく健康や環境について国民の関心も高く、毎日のように多くの報道がなされている。これらについて、誤った報道や誤解に惑わされることのないように、正しく広い分子科学的教養を身につける。					
学習内容	薬の使い方など身近な問題から地球全体の将来に関わる問題まで、今日の健康・環境問題を理解するためにはそれらにかかわる化学物質やその反応について幅広い正確な知識が必要です。これらの問題を深く理解するために必要な分子科学的な知識を学びます。					
授業計画	環境や健康の分子科学に関する問題を毎回 1 テーマずつ取り上げます。下記のテーマを取り上げますが、順序や内容は若干変わる可能性があります。 回 内容 1 ガイダンス・大気の基礎、大気中の有害物質（山本） 2 化石燃料とオゾン層（山本） 3 オゾン層の破壊（山本） 4 紫外線の影響（山本） 5 薬学入門 1：薬の発見発明史（特別講師・木村榮一広名誉教授） 6 薬学入門 2：日本初の世界的なくすり（特別講師・木村榮一広名誉教授） 7 薬学入門 3：抗がん剤の歴史（特別講師・木村榮一広名誉教授） 8 遊び心と数学と科学の融合した超分子合成ー2016 年ノーベル化学賞受賞（特別講師・木村榮一広名誉教授） 9 薬学入門 4：私の高ステージガンからのサバイバル体験（特別講師・木村榮一広名誉教授） 10 DNA 研究と医学の関わり（大吉） 11 環境と遺伝の関わりと倫理問題（大吉） 12 DNA 研究の最前線（大吉） 13 体の中の本当の DNA の姿（大吉） 14 生体材料とナノテクノロジー（大吉） 15 最先端の科学と生活（オンデマンド講義 第 14 週に配信）					
受講要件	特になし					
テキスト	特になし					
参考書	廣瀬千秋訳、「実感する化学」上下巻、エヌ・ティー・エス、ISBN978-4860430962					
予習・復習について	参考書の該当箇所を可能であれば適宜参照し、講義終了後に小テスト・レポート課題等で重要箇所を確認し復習すること。講義内容について理解できているか、さらにその内容について論理的に考察できるか評価する。					
成績評価の方法・基準	毎回の小テストあるいはレポート 100%					
オフィスアワー	メールにて随時対応 yamamoto.ayumu@shizuoka.ac.jp（山本）、oyoshi.takanori@shizuoka.ac.jp（大吉）					
担当教員からのメッセージ						

授業科目名	地域のひとと文字文化 (Celebrities in Shizuoka and Japanese character culture)																																																																					
担当教員名	杉崎 哲子 (SUGIZAKI Satoko)		所属等	学術院教育学領域																																																																		
			研究室	教育学部A棟602																																																																		
分担教員名																																																																						
クラス	学部共通 1	学期	前期		必修選択区分	—																																																																
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	月 5・6																																																																	
キーワード	地域の人、文字文化、書道、筆跡、書体、フォント、碑文、法帖、筆記用具、手書き文字、書字体勢																																																																					
授業の目標	地域（静岡県内）の著名人について、その功績だけでなく、筆跡や作品等を通して人物像を理解します。書簡や法帖等の毛筆書だけでなく、新しい筆記用具やフォントも含めた文字環境の変化にも着目して、「文字文化」を探究していきます。																																																																					
学習内容	静岡県には、沢山の著名な文人や歴史上の人物がいます。この授業では、静岡県立美術館、賀茂真淵記念館、井上靖文学館の協力によって、「地域のひと」の功績や彼らの筆跡、作品等に触れ、「地域のひとと文字文化」に対する理解を深めます。また、書字に関わる演習も取り入れながら、自分を取り巻く文字環境を心理学や脳科学、文学などの情報を加えた幾つかのテーマに沿って多面的に見つめ直し、「文字文化」について探究していきます。																																																																					
授業計画	<table><tr><td>回</td><td>内容</td><td>授業形態：基本は対面／＊はオンライン対応の可能性あり</td><td></td></tr><tr><td>1</td><td>文字との出会いを考える</td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>身近な文字文化を探る ...歴史</td><td></td><td>*</td></tr><tr><td>3</td><td>筆跡について...心理学</td><td></td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>多様な筆記具...人間工学、感性工学</td><td></td><td>*</td></tr><tr><td>5</td><td>利き手と筆記具の持ち方...人間工学、解剖学</td><td></td><td></td></tr><tr><td>6</td><td>書式（縦書き・横書き）と字体・フォント...情報学</td><td></td><td>*</td></tr><tr><td>7</td><td>「小杉文庫」を知る - 1...静岡県立美術館</td><td></td><td></td></tr><tr><td>8</td><td>「小杉文庫」を知る - 2...静岡県立美術館</td><td></td><td></td></tr><tr><td>9</td><td>文学と書、作家の原稿、書籍の装丁 ...文学、デザイン</td><td></td><td></td></tr><tr><td>10</td><td>文人の書（井上靖など）...長泉町井上靖文学館</td><td></td><td></td></tr><tr><td>11</td><td>書体の変遷と仮名の成立...書学・書道史、古典文学、国語学（国語）、民族学</td><td></td><td>*</td></tr><tr><td>12</td><td>地域のひと（賀茂真淵） - 1...浜松市賀茂真淵記念館</td><td></td><td></td></tr><tr><td>13</td><td>地域のひと（賀茂真淵） - 2...浜松市賀茂真淵記念館</td><td></td><td></td></tr><tr><td>14</td><td>様々な文字、実用書、商業書（暮らしの中の書）...外国語、商業・デザイン、美術</td><td></td><td>*</td></tr><tr><td>15</td><td>まとめ（文字文化についての考えをまとめる。）</td><td></td><td></td></tr></table>						回	内容	授業形態：基本は対面／＊はオンライン対応の可能性あり		1	文字との出会いを考える			2	身近な文字文化を探る ...歴史		*	3	筆跡について...心理学			4	多様な筆記具...人間工学、感性工学		*	5	利き手と筆記具の持ち方...人間工学、解剖学			6	書式（縦書き・横書き）と字体・フォント...情報学		*	7	「小杉文庫」を知る - 1...静岡県立美術館			8	「小杉文庫」を知る - 2...静岡県立美術館			9	文学と書、作家の原稿、書籍の装丁 ...文学、デザイン			10	文人の書（井上靖など）...長泉町井上靖文学館			11	書体の変遷と仮名の成立...書学・書道史、古典文学、国語学（国語）、民族学		*	12	地域のひと（賀茂真淵） - 1...浜松市賀茂真淵記念館			13	地域のひと（賀茂真淵） - 2...浜松市賀茂真淵記念館			14	様々な文字、実用書、商業書（暮らしの中の書）...外国語、商業・デザイン、美術		*	15	まとめ（文字文化についての考えをまとめる。）		
回	内容	授業形態：基本は対面／＊はオンライン対応の可能性あり																																																																				
1	文字との出会いを考える																																																																					
2	身近な文字文化を探る ...歴史		*																																																																			
3	筆跡について...心理学																																																																					
4	多様な筆記具...人間工学、感性工学		*																																																																			
5	利き手と筆記具の持ち方...人間工学、解剖学																																																																					
6	書式（縦書き・横書き）と字体・フォント...情報学		*																																																																			
7	「小杉文庫」を知る - 1...静岡県立美術館																																																																					
8	「小杉文庫」を知る - 2...静岡県立美術館																																																																					
9	文学と書、作家の原稿、書籍の装丁 ...文学、デザイン																																																																					
10	文人の書（井上靖など）...長泉町井上靖文学館																																																																					
11	書体の変遷と仮名の成立...書学・書道史、古典文学、国語学（国語）、民族学		*																																																																			
12	地域のひと（賀茂真淵） - 1...浜松市賀茂真淵記念館																																																																					
13	地域のひと（賀茂真淵） - 2...浜松市賀茂真淵記念館																																																																					
14	様々な文字、実用書、商業書（暮らしの中の書）...外国語、商業・デザイン、美術		*																																																																			
15	まとめ（文字文化についての考えをまとめる。）																																																																					
受講要件	特にありません。対面では、交流や演習も含めます。状況に応じて、＊のところはオンラインとします。																																																																					
テキスト	適宜、資料等を提示します。																																																																					
参考書	『書の古典と理論』全国大学書道学会（光村図書）、『筆跡の文化史』講談社文庫、『文字の骨組み』彩雲出版、『文字と書の世界』工作舎など																																																																					
予習・復習について	授業内容に関する情報収集やふりかえりなど、授業内に指示します。																																																																					
成績評価の方法・基準	毎回（テーマ毎）の授業への取り組みと最終課題																																																																					
オフィスアワー	毎週月曜日の昼休みに研究室（教育 A602）に直接、または電話等																																																																					
担当教員からのメッセージ	この授業では、身近にある筆記具の性能や自分の書き文字を分析します。また、文字を通して「地域のひと」を理解するとともに、「文字文化」について考えます。今後、AI が人に代わって色んな仕事をするようになり、もっと「手書き」の機会は減ると思われますが、そんな時代だからこそ、自分を取り巻く文字環境を見つめ直し、「手書き」の意義と可能性を考えて、自分らしく「文字を書くこと」を楽しんでもらいたいと願っています。																																																																					

授業科目名	心理学 (Psychology)					
担当教員名	須藤 智 (SUTO Satoru)		所属等	大学院グローバル共創科学領域		
			研究室	共通教育A棟513 (西)		
分担教員名						
クラス	学部共通 1	学期	前期		必修選択区分	—
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	火 3・4	
キーワード	心理学、日常生活における心理学の役割					
授業の目標	私たちの生活に密着した学問である心理学の基礎的な知識を習得する。そして、それらの知識を、自らの今後の生活や研究分野にどのように生かせるのかを考えることができるようになる。					
学習内容	心理学の研究領域で基礎的な知識について学ぶ。実際に、心理学研究で行われた実験、調査、検査等について体験し、実践的に知識を学ぶ。授業はテキストに準拠し、パワーポイントを使ってそれぞれの内容を具体的に説明する形式をとる（配布資料有）					
授業計画	1.心理学とは？ 2.感覚・知覚 1（感覚・知覚の基本的機能） 3.感覚・知覚 2（外界と心の相互作用を考える） 4.学習（学ぶということ） 5.認知 1（知のメカニズムを知る） 6.認知 2（記憶のメカニズムを知る） 7.認知 3（注意とは何か？） 8.発達 1（乳児期から児童期までの発達を知る） 9.発達 2（青年期から死までの発達を知る） 10.生理心理学 1（脳の機能と役割） 11.生理心理学 2（脳損傷から脳の機能を考える） 12.性格（性格とは何か？） 13.社会心理学（社会的認知とは何か？） 14.最新のトピック（高齢者の心理） 15.最新のトピック（日常の心理学）※オンライン授業 7 月中に課題配信予定					
受講要件	特になし					
テキスト	特になし					
参考書	兵藤宗吉・緑川晶編著、心の科学—理論から現実社会へ（ナカニシヤ出版）、477950385X					
予習・復習について	予習：参考書を持っている場合は、当該箇所を一読してくること。所有していない場合は、図書館等で関連図書を借り、当該箇所を一読してくること。復習：配布されたレジュメを一読し、整理すること。					
成績評価の方法・基準	課題提出状況(約 20%)＋学期末レポート(約 80%)＋α（エクストラクレジット）で評価を決定する。学生の受講状況によっては、レポートではなく試験を実施する場合もある。学期末レポートは、各回の内容の自学自習についても記入することが求められるので、日常的な事前事後学習をしていないと記入することができない。レポートだからといって軽く考えないこと。エクストラクレジットの詳細は授業の最初に説明する。出席点は無し、2／3 以上出席すること。					
オフィスアワー	静岡キャンパス 共通 A 棟 5F513 室 火曜日 5,6 限					
担当教員からのメッセージ	多数の学生の受講が予測されるので、厳密な点数に基づく成績評価を行う予定。また、授業中に最新の授業支援ツールを利用する予定なのでスマートフォン、携帯電話、PC の持ち込みが望ましい。					

授業科目名	哲学 (Philosophy)					
担当教員名	竹之内 裕文 (TAKENOUCHI Hirobumi)		所属等	学院院農学領域		
			研究室	農学部総合棟 520		
分担教員名						
クラス	学部共通 1	学期	前期		必修選択区分	—
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	火 3・4	
キーワード	哲学、対話、アート、写真、詩、問い、戦争、悪、自由、愛					
授業の目標	①「アート」と「対話」について説明することができる。 ②異なった意見にオープンに耳を傾けることができる。 ③自分の思い・考えを言葉にして相手に伝えることができる。 ④ともに哲学することの楽しさと奥深さをひとに伝えることができる。					
学習内容	「アートと対話の哲学」というタイトルのもと、準備的な対話と解説に引き続いて、写真・詩を題材に 2 回の会話・対話を試みます。そのうえで詩・問いをめぐる 9 回の対話を実施します。最終回は、テーマの理解と会話・対話の歩みについてふり返ります。会話・対話の授業はグループでの話し合い（4 名程度で 1 グループ）とそれに続く全体対話から構成されます。					
授業計画	回 内容 1 ガイダンス（授業担当者の活動紹介、授業のアウトラインと進め方、グループ分け、役割分担、評価方法など） 2 準備的な対話 ①アートとはなにをいうのか？②対話するとはどういうことか？対話は、会話や議論とどう違うか？ 3 準備的な解説と資料（会話・対話の題材と参考文献）紹介 4 写真を囲んで会話・対話①～岡村昭彦の写真 5 写真を囲んで会話・対話②～井上緑の写真に言葉をつける 6 詩をめぐる会話・対話①～茨木のり子「敵について」 7 問いをめぐる対話①～なぜ戦争はなくなるのか？ 8 問いをめぐる対話②～なぜひとは悪をおこなうのか？ 9 詩をめぐる会話・対話②～長田弘「魂というものがあるなら」 10 問いをめぐる対話③～あなたは自由か？ 11 詩をめぐる会話・対話③～長田弘「We must love one another or die」 12 問いをめぐる対話④～ひとを愛するとはどういうことか？ 13 詩をめぐる会話・対話④～茨木のり子「ざらりと光るダイヤのような日」 14 問いをめぐる対話⑤～「本当に生きる」とはどういうことか？ 15 テーマと会話・対話のふり返り					
受講要件	この授業の目標と学習内容をよく理解し、対話（感じる、問う、考える、語る、聴く）に意欲的に取り組めること。この授業は対話を中心に進められるので、出席は厳密な意味での〈前提〉です。					
テキスト	テキストは指定しませんが、以下にあげた 3 冊の参考書から 1 冊を選んで読んでください。					
参考書	梶谷真司『考えるとはどういうことか 0 歳から 100 歳までの哲学入門』（幻冬舎新書、2018 年・ISBN978-4-34498514-8、924 円）、納富信留『対話の技法』（笠間書院、2020 年、ISBN978-4-305-70932-1、1540 円）、デヴィッド・ボーム『ダイアローグ 対立から共生へ、議論から対話へ』（英知出版、2007 年、ISBN978-4-86276-017-3、1760 円）					
予習・復習について	準備的な対話と問いをめぐる対話①～⑤の「問い」について、友人や家族と話し合う、参考文献にあたる、ひとりで思いをめぐらすなどして、準備してください。それをフィードバックシートに記入したうえで、講義での対話に臨んでください。フィードバックシートは当該回の講義冒頭に回収します。会話・対話を終えた後も、問い続ける姿勢を大切にしてください。					
成績評価の方法・基準	ポイント制とします。1) フィードバックシート 72 点満点 12 点満点×6 回 2) 全体対話での発言 1 回 4 点各回のフィードバックシートは、すべての質問に対してきちんと回答してあれば、12 点満点を獲得できるはず。なお追試等の措置は予定しておりませんので、ご注意ください。					
オフィスアワー	原則として月曜日、火曜日、水曜日の昼休み以降。農学総合棟 520 室に入室する場合は、事前にメールで連絡していただくと助かります。					
担当教員からのメッセージ	対話的な探究は、哲学の醍醐味のひとつです。カフェスタイルで、哲学することの楽しさを存分に味わってください。ただし修了試験・レポートがない分、毎回の講義に対して入念な準備が求められます。受講要件をもう一度確認し、熟慮のうえ選択してください。					

授業科目名	生命科学 (Life Science)					
担当教員名	徳岡 徹 (TOKUOKA Toru)		所属等	学院院理学領域		
			研究室	理学部A棟 517		
分担教員名	藤原 健智					
クラス	学部共通 1	学期	前期		必修選択区分	—
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	月 5・6	
キーワード	微生物、環境、多様性、植物、分類、形態					
授業の目標	生物は多様な環境の中で生育し、様々な形態をもって適応している。植物と微生物を題材として、生物の環境適応の仕組みが理解できる。生物の環境への適応戦略の仕組みを知り、人文、社会、教育学への応用につなげることができるようになる。					
学習内容	この講義では、前半部で微生物の環境中における振る舞いを学ぶ。後半部では主として植物の分類や生態について学ぶ。高校で生物を選択しなかった学生を基準に授業を進める。					
授業計画	授業担当者： 1～7 回：理学部生物科学科・教授・藤原健智 8～15 回：理学部生物科学科・准教授・徳岡徹 担当教員のスケジュールにより授業の順序が変更になる場合があります。 回 内容 1 ガイダンス 2 微生物とは何か？ 3 微生物の多様性 4 微生物の進化 5 微生物と環境 6 微生物の利用 7 微生物と病気 8 ガイダンス：大学構内の植物 9 陸上植物の分類 1ーシダ植物ー 10 陸上植物の分類 2ー裸子植物ー 11 陸上植物の分類 3ー被子植物ー 12 身近な植物群落 1ー照葉樹林ー 13 身近な植物群落 2ー夏緑樹林ー 14 身近な植物群落 3ー針葉樹林ー 15 まとめ（授業の振り返り）					
受講要件	なし					
テキスト	特に指定しない					
参考書	維管束植物の形態と進化、アーネスト・ギフォード、エイドリアン・フォスター（著）、長谷部 光泰ほか（訳）、1989、文一総合出版、4829921609 植物自然史、戸部 博、1994、朝倉書店、4254170874					
予習・復習について	授業を聞いて疑問に思った点や深く調べたいと思った点については、自ら関連する書にあたるなどして下さい。					
成績評価の方法・基準	授業中に小レポートを課し、これによって評価します。					
オフィスアワー	訪問前にメールで問い合わせてください。徳岡宛：tokuoka.toru@shizuoka.ac.jp					
担当教員からのメッセージ	生物多様性の面白さをできるだけ紹介したいと思います。双方向アンケートを実施していますので、遠慮なく疑問点や意見などを書き込んで下さい。					

授業科目名	ドイツ語コミュニケーションⅡ (German Communication Ⅱ)					
担当教員名	大 藁 正彦 (OZONO Masahiko)		所属等	学術院人文社会科学領域		
			研究室	人文 A 棟 4 2 3		
分担教員名						
クラス	人文専門	学期	前期		必修選択区分	選必
対象学年	2～4 年次	単位数	2	曜日・時限	金 3・4	
キーワード	ドイツ語、言語運用能力、リスニング、多文化理解					
授業の目標	特に「聴く」能力を重点的に向上させながら、中級レベルのドイツ語運用能力を身につける。また、異文化についての考察を通し、文化を多元的に理解できるようになる。(DP 2B：外国語の運用力, 2-c：多様な文化の理解, 2-d：国際的感覚の涵養)					
学習内容	宮崎駿監督作品『千と千尋の神隠し』(Chihiros Reise ins Zauberland) のドイツ語吹き替え版を題材に、聴解や発音の練習を行います(前年度からの続きでチャプター13 から取り上げます)。授業では文字に起こしたスクリプトも読んでいきます。映画を題材としますので、出てくる表現は基本的にすべて会話文です。聞き取りの練習に加え、初級文法の復習、基本語彙や慣用句、特に口語的表現の学習なども行います。また、日本映画の吹き替え版を用いることから、異文化や翻訳の問題にも着目します。本科目は体験型学習科目です。					
授業計画	受講生が具体的にに取り組む学習内容は概ね次の通りです。 (I. 聴解と読解) 1. Kap. 13: Besondere Behandlung 2. kap. 14: Ein spendabler Gast 3. Kap. 15: Auf der Suche nach Haku 4. Kap. 16: Die Zwillingsschwester 5. Kap. 17: Das Siegel der Zeniba (II. 文法) 6. 初級文法の復習 7. 未習文法事項の学習 8. 口語表現の特徴 (III. 語彙) 9. 基本語彙の習得 10. 口語と文語の違い (IV. 音) 11. 日本語話者にとってのドイツ語聴解のポイント (V. 翻訳) 12. 翻訳の種類 13. レアリアの問題 14. 異文化間翻訳の問題 15. 翻訳と翻案(試験期間中に実施)					
受講要件	予習して授業に参加できること。初級レベルのドイツ語運用能力を有すること。					
テキスト	プリントで配布します。					
参考書	太田達也『ドイツ語おもしろ翻訳教室』NHK 出版.関ロー一郎『マイスター ドイツ語コース 2 表現』大修館書店.関ロー一郎『マイスター ドイツ語コース 3 語法』大修館書店.独和辞典・和独辞典は必携です。その他授業中に適宜紹介します。					
予習・復習について	授業 1 回あたり、2～3 時間程度の授業外学習が前提です。					
成績評価の方法・基準	予習も含めた授業への取り組み(50%)と授業中に行う小テスト(50%)をもとに評価します。出席は評価の前提です。正当な理由なく 3 分の 1 以上欠席した場合は成績評価の対象外となります。					
オフィスアワー	金曜日昼休み					
担当教員からのメッセージ	ドイツ語を聞いたり読んだりする練習をしながら、言語や文化に関する知識を深めていきたいと思います。力が伸びていくのを実感できるのはきっと楽しいと思います。					

授業科目名	経営情報論 (Management Information)					
担当教員名	伊東 暁人 (ITO Akito)		所属等	学術院人文社会科学領域		
			研究室	共通 L 棟 414		
分担教員名						
クラス	人文専門	学期	前期		必修選択区分	選択
対象学年	3～4 年次	単位数	2	曜日・時限	火 5・6	
キーワード	ICT (情報通信技術)、経営、組織、意思決定、コミュニケーション、ビジネスプロセス、システム、情報ネットワーク、企業					
授業の目標	組織（おもに企業）における ICT 利用の変遷を概観したうえで、経営情報管理に関わる基礎的な知識を習得するとともに、ICT が組織における意思決定やコミュニケーションに与える影響、ビジネスプロセスの変革、これからの課題について理解できるようになること。					
学習内容	経営情報論は、経営学の領域のなかでは最も新しい分野の一つであるが、本講義では、組織（おもに企業）における ICT 活用の変遷を踏まえたうえで、どのような考え方で情報システムの利用が発展してきたのか？、ICT と人間の関係はどうあるべきなのか？これからの経営と情報システムの課題は何か？、といったことを考察する。基本的には、教室での対面授業となる。					
授業計画	授業はテキストに沿って行われるが、加えて関連資料等をファイルで配信するので、学務情報システムからの連絡には特に注意すること。 回 内容 1 はじめに 講義の概要説明、経営情報論とは何か？ ・情報社会の到来と企業経営 ・経営資源としての情報 ・組織体と情報システム ・経営情報論の意義 2 経営情報論の前提としての組織論、戦略論 3 経営情報論の前提としてのシステム論 4 経営情報システム概念の変遷-1 ・ADP から MIS ・DSS 5 経営情報システム概念の変遷-2 ・OA ・SIS ・BPR 6 ICT と組織変革 ・ICT と組織の関連性 ・ネットワークとユビキタス 7 ICT の進展とその基礎知識 ・データ処理能力の向上 ・標準化の進展 ・DB 技術の発展と活用 8 経営情報システムの設計・開発・管理 (オンデマンド型授業回 7 週後に配信予定) ・開発方法論 ・情報化投資 ・セキュリティと監査 9 ICT とビジネスイノベーション-1 ・現代の競争環境 ・イノベーションをめぐる議論 10 ICT とビジネスイノベーション-2 ・プロセスイノベーションと ICT、企業戦略 11 ネットビジネス ・シリコンバレーモデル ・サーチエコノミー ・プラットフォームの台頭 12 ICT と組織コミュニケーション ・組織コミュニケーションの機能 ・CMC の実践としてのテレワーク 13 ビジネスインテリジェンスとナレッジマネジメント ・データエンジニアリング ・データアナリシス ・組織知 14 ICT と社会 ・社会的存在としての企業 ・ICT の社会的影響 ・情報倫理の諸課題 15 講義のまとめと今後の課題・展望					
受講要件	経営学の初歩的な知識があることを前提とする。(企業経済論、経営学Ⅰ・Ⅱ履修済が望ましい。)					
テキスト	遠山・村田・古賀『現代経営情報論』(有斐閣、2021 年) ISBN:978-4-641-22178-9 ¥2700+税ほかに、レジュメと参考資料を学情 Sys から DL 配信する。					
参考書	岸・佐藤編『[新訂] 経営情報学入門』(放送大学教育振興会、2023 年)、木嶋・岸『経営情報学-理論と現象をつなぐ論理-』(有斐閣、2023 年)、生稲・高井・野島『コアテキスト 経営情報論』(新世社、2021 年) など。ほかにも授業内で適宜、紹介する。					
予習・復習について	予習：テキストで次回授業の箇所を読み、授業 HP からレジュメと参考資料を DL し目を通す。復習：テキストの該当章末練習問題を解いてみる。					
成績評価の方法・基準	月末レポート 4 回 (10%×4 回=40%)、期末試験 (60%) で評価する予定。一定回数のレポート提出が期末試験の受験前提資格となる。					
オフィスアワー	正式には初回授業で連絡するが、月曜 14:30-15:30 を予定している。メールでの問い合わせ等には随時対応する。					
担当教員からのメッセージ	日ごろから、新聞、雑誌、TV などで企業や情報システムの実状について関心を持っていることが望ましいです。1. 県立大学単位互換 (認めない) 2. 科目等履修生 (認める) 難易度：C (専門的)					

科目番号 8

授業科目名	書写基礎 (The Basic Handwriting)					
担当教員名	杉崎 哲子 (SUGIZAKI Satoko)		所属等	学院院教育学領域		
			研究室	教育学部A棟602		
分担教員名						
クラス	A組	学期	前期		必修選択区分	—
対象学年	1年	単位数	2	曜日・時限	月9・10	
キーワード	書写、字形、字体、筆順					
授業の目標	小中学校国語科書写の内容理解し、毛筆の実技を通して書写の原理を把握し筆使いや運筆の仕方を身につけて、硬筆においても整齊な楷書と楷書に調和する仮名を書くことができる。					
学習内容	「毛筆は硬筆の基礎を養う」との観点から、毛筆を中心に書写の基本として、字形要素や筆使い（書き方の理解）、配列などを系統的・段階的に学習する。					
授業計画	1. ガイダンス（授業の進め方、用具用材について） 2. 基本点画（特徴と書き方、字形要素について） 3. 字形の整え方①（長短、画間、方向） 4. 字形の整え方②（交わり方、接し方） 5. 複合文字の整え方③（組立て方・左右） 6. 複合文字の整え方④（組立て方・上下） 7. 複合文字の整え方⑤（組立て方・内外） 8. 平仮名の形と運筆の仕方 9. 片仮名の形と運筆の仕方 10. 文字の中心と大きさ 11. 配列(ルーブリック作成) 12. 筆記具の選択と用紙、書式（手紙） 13. 葉書、案内表示の書き方 14. 小学校国語科学習指導要領における書写指導 15. 国語科書写の学習内容の振り返り（評価を含む）					
受講要件	中学校国語免許取得予定者。原則として、クラス編成のA・Bに従う。					
テキスト	『国語科書写の理論と実践』全国大学書写書道教育学会編（萱原書房）ISBN978-4-86012-102-0(2020 発行)					
参考書	小学校・中学校国語科書写の検定教科書					
予習・復習について	対面授業の前後に、指定するノートに、字形要素を確認し硬筆（主に鉛筆）で書く課題に取り組む。ここには適宜、補助線を付す。					
成績評価の方法・基準	毎時の提出課題（毛筆・硬筆）と筆記試験によって、理解度と取り組みの姿勢、技能面を見る。筆記試験の結果は30%反映させる。また、実技科目であるため、欠課時の学習内容を補う必要がある。					
オフィスアワー	火曜昼休み、教育A602（研究室）に直接					
担当教員からのメッセージ	作品の出来不出来などの技能的な結果ばかりを気にするのではなく、原理原則を理解して指導できるようになるという自覚を持って、意欲的に「書く」ようにしてください。					

授業科目名	書写基礎 (The Basic Handwriting)					
担当教員名	杉崎 哲子 (SUGIZAKI Satoko)		所属等	学院教育学領域		
			研究室	教育学部A棟602		
分担教員名						
クラス	B組	学期	前期		必修選択区分	選択
対象学年	1年	単位数	2	曜日・時限	木1・2	
キーワード	書写、字形、字体、筆順					
授業の目標	小中学校国語科書写の内容理解し、毛筆の実技を通して書写の原理を把握し筆使いや運筆の仕方を身につけて、硬筆においても整齊な楷書と楷書に調和する仮名を書くことができる。					
学習内容	「毛筆は硬筆の基礎を養う」との観点から、毛筆を中心に書写の基本として、字形要素や筆使い（書き方の理解）、配列などを系統的・段階的に学習する。					
授業計画	1. ガイダンス（授業の進め方、用具用材について） 2. 基本点画（特徴と書き方、字形要素について） 3. 字形の整え方①（長短、画間、方向） 4. 字形の整え方②（交わり方、接し方） 5. 複合文字の整え方③（組立て方・左右） 6. 複合文字の整え方④（組立て方・上下） 7. 複合文字の整え方⑤（組立て方・内外） 8. 平仮名の形と運筆の仕方 9. 片仮名の形と運筆の仕方 10. 文字の中心と大きさ 11. 配列（ルーブリック作成） 12. 筆記具の選択と用紙、書式（手紙） 13. 葉書、案内表示の書き方 14. 小学校国語科学習指導要領における書写指導 15. 国語科書写の学習内容の振り返り（評価を含む）					
受講要件	中学校国語免許取得予定者。原則として、クラス編成のA・Bに従う。					
テキスト	『国語科書写の理論と実践』全国大学書写書道教育学会編（萱原書房）ISBN978-4-86012-102-0(2020 発行)					
参考書	小学校・中学校国語科書写の検定教科書					
予習・復習について	対面授業の前後に、指定するノートに、字形要素を確認し硬筆（主に鉛筆）で書く課題に取り組む。ここには適宜、補助線を付す。					
成績評価の方法・基準	毎時の提出課題（毛筆・硬筆）と筆記試験によって、理解度と取り組みの姿勢、技能面を見る。筆記試験の結果は30%反映させる。また、実技科目であるため、欠課時の学習内容を補う必要がある。					
オフィスアワー	火曜昼休み、教育A棟602（研究室）に直接					
担当教員からのメッセージ	作品の出来不出来などの技能的な結果ばかりを気にするのではなく、原理原則を理解して指導できるようになるという自覚を持って、意欲的に「書く」ようにしてください。					

授業科目名	書写研究 (Japanese Handwriting (Semi-cursive Style))					
担当教員名	杉崎 哲子 (SUGIZAKI Satoko)		所属等	大学院教育学領域		
			研究室	教育学部A棟602		
分担教員名						
クラス	A組	学期	前期		必修選択区分	—
対象学年	2年	単位数	2	曜日・時限	火9・10	
キーワード	行書、字形、筆使い、行書に調和する仮名					
授業の目標	行書の特徴、用筆法を理解して正しく整えて速く書くことができる。また、行書に調和する仮名についても特徴と用筆を理解して書くことができる。さらに、これらの学習を生活の中で生かすことができる。					
学習内容	「書写基礎」の内容をふまえ行書の基礎的知識とあわせて、実技（毛筆）を中心として行書と行書に調和する仮名の特質を分析的に学習する。楷書の基本が習得されていない場合は授業の内容を理解しにくいことが予想されるので、受講生は楷書の技法を充分復習しておく必要がある。					
授業計画	1 行書の基本的な筆使いと基本点画の書き方 2 行書の筆使い：点画の曲線化（転折部分の円み） 3 行書の筆使い：基本点画（楷書との違いを明確にする） 4 行書の特徴：終筆の変化「払いがとめになる」「とめがはねになる」など 5 行書の特徴：点画の変化「右払いが長点になる」「短い左払いが横画になる」（方向の変化）等 6 行書の特徴：点画の連続（筆脈の実線化） 8 行書の特徴：点画の連続（直接連続） 9 行書の特徴：点画の省略（へん、かんむりを中心に） 10 行書の特徴：筆順の変化 11 行書に調和する仮名 12 漢字かな交じり文 13 配置・配列、ちらし書き 14 日常に生かす（手紙文）、メモ書き 15 国語科書写における行書学習のまとめ（評価を含む）					
受講要件	「書写基礎」を受講済であること					
テキスト	『国語科書写の理論と実践』全国大学書写書道教育学会（萱原書房） ISBN978-4-86012-102-0(2020 発行)					
参考書	中学校国語科書写検定教科書					
予習・復習について	対面授業の前後に、指定するノートに、学習内容を確認し筆ペンで書く課題に取り組む。ここには適宜、補助線を付す。					
成績評価の方法・基準	授業内での課題（毛筆・硬筆）の内容及び筆記試験（20％反映させる）による。実技科目であるため、欠課時数が多い場合は、基本的には単位は認められない（事情がある場合も補習などの対応を要する）。					
オフィスアワー	火曜昼休みまたは、オンライン（Teams のチャット機能を使用）					
担当教員からのメッセージ	指導法を学ぶだけでなく、授業で学習したことを日常生活に生かし、積極的に「文字を書くこと」を楽しんでください					

授業科目名	書文化制作実践 (Practice of Japanese Calligraphy)					
担当教員名	杉崎 哲子 (SUGIZAKI Satoko)		所属等	学院院教育学領域		
			研究室	教育学部A棟602		
分担教員名						
クラス	アート	学期	前期		必修選択区分	選択
対象学年	2年	単位数	2	曜日・時限	水5・6	
キーワード	書、書風、文字、書体、墨色、筆触、紙面構成					
授業の目標	書の特質を理解して、多様な表現方法を学び、造形性、空間性、文字性など、重視するテーマに沿った書作品を創造する。					
学習内容	書の特質を理解し表現方法の探究のために、古典や近現代の作品の鑑賞を適宜取り入れながら、意図に基づく書作品を制作する。					
授業計画	回 内容 1 ガイダンス 書の特質を理解する 2 高等学校芸術科書道の内容を知る（表現と鑑賞） 3 臨書の意味と創作への手立てを知る 4 文字造形の面白さを知る（楷書・少字数） 5 書線を味わう（一字書） 6 書と絵の関係性を考える（篆書） 7 仮名文字から創造する（仮名） 8 墨色を楽しむ（墨象芸術） 9 思いを形にする（漢字仮名交じり書） 10 表現の工夫（漢字仮名交じりの書） 11 余白・構成を考える 12 既習内容を生かした自分の表現を追究する 13 まとめの作品制作 14 まとめの作品制作の表装（見せ方の工夫） 15 まとめ・鑑賞（作品展示） ※試験週に実施					
受講要件	特にありません。書道に興味を持っている方なら、どなたでも楽しく取り組める内容です。					
テキスト	必要に応じて、適宜、指示する。					
参考書	『書の古典と理論』全国大学書道学会編（光村図書など、必要に応じて、提示する。					
予習・復習について	書制作（臨書、創作）や鑑賞の手立てになる古典に関する情報収集など、授業内容に応じて指示する。					
成績評価の方法・基準	授業中の取り組みと、制作課題の内容について、3回～11回については80%、最終課題については20%とする。					
オフィスアワー	教育A602（研究室）に直接または、オンライン（Teamsのチャット機能を使用予定）で対応					
担当教員からのメッセージ	書写や書道が苦手だった人も、文字を題材にした毛筆による多様な表現を知れば、きっと、その面白さに魅了されるでしょう。書道の初心者でも楽しく取り組めるように工夫します。作品の展示も予定しています。（必要な用具・用材については、初回の授業時に、具体的に指示します。）					

授業科目名	基礎物理学 I (Fundamental Physics I)					
担当教員名	松本 正茂 (MATSUMOTO Masashige)		所属等	学術院理学領域		
			研究室	理学部 A 棟 501		
分担教員名						
クラス	理学専門科目	学期	前期前半		必修選択区分	必修
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	水 5・6、金 3・4	
キーワード	微分、積分、力学					
授業の目標	物理学の基礎である力学を学びながら、大学で物理学を学ぶために必要な数学を習得する。					
学習内容	力学の基礎的な内容について、演習を交えながらして学んでいく。基礎物理学 I では、主に微分を中心に学び、力学にどのように応用されているか理解する。					
授業計画	1. 微分の復習・逆関数の微分 2. ベクトルの内積・外積 3. ベクトルの微分・極座標 4. 演習問題（微分）についてのグループディスカッション 5. ニュートンの運動方程式 6. 重力による運動（オンデマンド型授業 1 回分を実施）（第 5 回授業後に配信） 7. 演習問題（ベクトルの内積と外積・ベクトルの微分）についてのグループディスカッション 8. テイラー展開 9. テイラー展開の意味・テイラー展開の応用 10. 演習問題（運動方程式の解法）についてのグループディスカッション 11. 関数の近似とテイラー展開 12. 多変数関数・偏微分・全微分 13. 多変数関数のテイラー展開 14. 演習問題（テイラー展開）についてのグループディスカッション 15. 演習問題（偏微分）についてのグループディスカッション 16. 期末試験 基礎物理学 I はクォーター制の授業であり、週に 2 回授業を実施し、前期前半で終了する。					
受講要件	なし					
テキスト	「力学」日本評論社（2017）御領潤（著）ISBN-10：4535806381 「Ability 数学 微分積分」共立出版（2005）飯島徹徳（著）ISBN-10：4320017552					
参考書	「力学 増補版」学術図書出版社 植松恒夫（著）ISBN-10：4780609453					
予習・復習について	予習・復習を必ず行うこと。授業のノートや教科書を読み、よく考えて、手を使い計算して復習することが大切である。理解した内容を、自分の言葉でノートをまとめることで理解が深まる。					
成績評価の方法・基準	試験(70%)と演習問題に対する提出物(30%)によって評価する。					
オフィスアワー	随時（状況によっては設定する場合もある）場所：理学部 A 棟 5 階 501 室					
担当教員からのメッセージ	高校では、微分と積分をあからまざまにせず物理を勉強した。一方、微分と積分は、力学のためにニュートンが生み出したものでもあり、微積分と力学は強く結びついている。大学では数学を使って物理を学ぶ。高校物理では曖昧であったものが、数学を使うことで明確になる。その過程を理解して、力学を楽しんで欲しい。					

授業科目名	基礎物理学Ⅱ (Fundamental Physics II)					
担当教員名	松本正茂 (MATSUMOTO Masashige)		所属等	学術院理学領域		
			研究室	理学部 A 棟 501		
分担教員名						
クラス	理学専門科目	学期	前期後半		必修選択区分	必修
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	水 5・6、金 3・4	
キーワード	微分、積分、力学					
授業の目標	基礎物理学Ⅰに引き続き、物理学の基礎にある力学を学びながら、大学で物理学を学ぶために必要な数学を習得する。					
学習内容	基礎物理学Ⅱでは、積分を中心に学び、力学の中でどのように応用されているか理解する。					
授業計画	1. 積分の復習 2. 線積分（オンデマンド型授業を 1 回分実施）（第 1 回授業後に配信） 3. エネルギー保存則 4. ポテンシャルエネルギーと力 5. 保存力 6. 演習問題（積分の応用・線積分）についてのグループディスカッション 7. 多重積分（その 1・基礎的な内容） 8. 多重積分（その 2・応用的な内容） 9. 演習問題（ポテンシャルエネルギーと力・エネルギー保存則）についてのグループディスカッション 10. 重力ポテンシャル 11. 演習問題（多重積分）についてのグループディスカッション 12. 微小振動・運動量と角運動量保存則 13. ベクトル解析の基礎 14. 演習問題（重力ポテンシャル中の運動）についてのグループディスカッション 15. これまでの授業内容についてのグループディスカッション 16. 期末試験 基礎物理学Ⅱはクォーター制の授業であり、週に 2 回実施される。授業は前期後半に開講される。					
受講要件	基礎物理学Ⅰを履修していることが望ましい。					
テキスト	「力学」日本評論社（2017）御領潤（著）ISBN-10：4535806381 「Ability 数学 微分積分」共立出版（2005）飯島徹穂（著）ISBN-10：4320017552					
参考書	「力学 増補版」学術図書出版社 植松恒夫（著）ISBN-10：4780609453					
予習・復習について	予習・復習を必ず行うこと。授業のノートや教科書を読み、よく考えて、手を使い計算して復習することが大切である。理解した内容を、自分の言葉でノートをまとめることで理解が深まる。					
成績評価の方法・基準	試験(70%)と演習問題に対する提出物(30%)によって評価する。					
オフィスアワー	随時（状況によっては設定する場合もある）場所：理学部 A 棟 5 階 501 室					
担当教員からのメッセージ	基礎物理学Ⅰでは微分を中心に学ぶが、力学の問題を解くためには積分が必要となる。物理現象は微視的なものの集まりで構成されるため、積分の考え方はとても重要である。基礎物理学Ⅱの授業を通じて物理における積分の取り扱いを理解し、物理の考え方に慣れて欲しい。					

授業科目名	動物発生学 I					
担当教員名	徳元 俊伸 (TOKUMOTO Toshinobu)		所属等	学術院理学領域		
			研究室	総合研究棟 625		
分担教員名						
クラス	理学専門科目	学期	前期前半		必修選択区分	必修
対象学年	2 年	単位数	1	曜日・時限	月 3・4	
キーワード	発生機構、ズータイプ、転写因子、誘導シグナル					
授業の目標	近年解明が進んだ動物の発生の分子機構の概略について、また、そのメカニズムを解明する研究手法について説明できるようになる。					
学習内容	発生生物学は分子生物学の手法を用いることにより、近年めざましい進展を果たした。その発展の原動力となったのは発生過程で重要な機能を担う分子の同定法（遺伝子配列の決定）が確立されたことにある。さらにその遺伝子の導入、除去などの手法を駆使することで発生過程を実験的に改変する技術が確立され、今ではこれらの技術を基礎とした様々な研究から発生機構が分子のレベルで理解できるようになってきた。本講義では近年明らかになった発生の分子機構を概説する。					
授業計画	1. 動物発生学の隆盛 実験発生学 発生遺伝学 分子生物学 統合バイオサイエンス 2. 動物の発生における一般的な特徴 発生研究のテーマ クローン動物 エピジェネティクス 3. 動物の発生に関わる重要な分子群 転写因子 ゲノムレベルでの遺伝子発現制御 細胞接着分子 誘導因子 4. 動物の配偶子形成と初期発生 減数分裂 卵形成 初期発生 原腸陥入 5. 細胞の移動と形態形成 形態形成 細胞周期 分子系統発生 オースログ パラログ ズータイプ 6. 発生遺伝学 突然変異体 ゲノム編集 表現型の種類 母性効果遺伝子 7. 実験発生学 1 遺伝学的経路 二重変異体 遺伝子のマッピング ポジショナルクローニング (オンデマンド型授業) 8. 実験発生学 2 分子機能の証明 遺伝子機能の抑制法 蛍光観察 PCR 法 (オンデマンド型授業) 試験					
受講要件	「動物発生学 II」をセットで履修することが望ましい。					
テキスト						
参考書	エッセンシャル発生生物学、羊土社、Jonathan Slack 著 大隈典子 訳 ISBN978-4-7581-0709-9 2009 年 ウィルト発生生物学、東京科学同人 ISBN4-8079-0624-0 2006 年					
予習・復習について	各回につき、講義ノート、資料を参照して復習すること。					
成績評価の方法・基準	対面授業が可能となった場合は出席確認を兼ねて毎回、復習のための小テストを実施する。この小テストと本試験 1 回の成績を合計して理解度を評価する。対面授業が可能で無い場合は期末試験のみにより評価する。					
オフィスアワー	月曜日 7・8 時限（2 時 25 分・3 時 55 分）を予定					
担当教員からのメッセージ	本講義を履修することにより分子レベルの発生学の概略が理解できるようになると期待している。					

授業科目名	動物発生学Ⅱ					
担当教員名	徳元 俊伸 (TOKUMOTO Toshinobu)		所属等	学術院理学領域		
			研究室	総合研究棟 625		
分担教員名						
クラス	理学専門科目	学期	前期		必修選択区分	選必
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	火 3・4	
キーワード	モデル生物、誘導、形態形成、細胞分化、細胞間相互作用、遺伝子発現、進化					
授業の目標	モデル生物の発生の分子機構の概略について、その共通性と多様性について説明できるようになる。					
学習内容	動物の発生の仕組みはモデル動物の発生の分子機構の解析が集中的に進められることにより、進化の過程で動物に共通した発生の仕組みを保つことや環境に応じた独自の仕組みを多様化させてきたことが解明されてきた。また、各モデル生物の発生機構に応じた研究手法が確立され、これらの技術を基礎とした様々な研究から発生機構が分子のレベルで理解できるようになってきた。最近になりゲノム編集技術も確立され、マウスでのみ可能であった遺伝子ノックアウトやノックインが可能となり益々研究の幅が広がっている。本講義では各モデル生物の発生の仕組みやそれぞれに特有な実験手法を概説する。					
授業計画	授業計画 1：発生遺伝学 予定運命地図 運命拘束 特異化 決定 細胞質運命決定因子 誘導 モルフォゲン 二価安定スイッチ 2:実験発生学 1 分子機能の証明 アンチセンス 蛍光観察 RT-PCR リアルタイム PCR マイクロアレイ RNAseq 3：実験発生学 2 in situ ハイブリダイゼーション 免疫組織化学染色法 トランスジェニック ゲノム編集 セルソーター 4:モデル生物とゲノム情報の利用 モデル生物のゲノム解読 ゲノムデータベースの利用 分子系統樹 スプライスバリエント オントロジー UniProKB 5:アフリカツメガエルの発生 卵の極性 胞胚 原腸陥入 表層回転 6：アフリカツメガエルの発生の分子機構と実験技術 卵や胚を用いた実験技術 アニマルキャップ オーガナイザー 中胚葉誘導 7：ゼブラフィッシュの発生 変異体のスクリーニング ポジショナルクローニング 背腹軸の決定 8：マウスの発生1 受精のしくみ 先体反応 コンパクション 内部細胞塊 結節 胚の回転 9：マウスの発生2 胎盤 左右非対称性 ゲノムインプリンティング X 染色体の不活性化 ノックアウトマウス 10：ニワトリの発生 ヒポブラスト コラーの鎌 ヘンゼン結節 11：ショウジョウバエの発生1 極細胞質 母性効果遺伝子 濃度勾配 12：ショウジョウバエの発生2 末端化システム 背腹軸の決定 分節化遺伝子 13：ショウジョウバエの発生3 ギャップ遺伝子 ペアルール遺伝子 セグメントポラリティー遺伝子 Hox 遺伝子 14：線虫の発生 細胞系譜 自家受精 母性効果遺伝子 生殖腺の発生 プログラム細胞死 15：ヒトの発生 胚の着床 回転卵割 胚盤葉 原始線条 結節 (オンデマンド型授業) 16：試験					
受講要件	「動物発生学Ⅰ」をセットで履修することが望ましい。					
テキスト						
参考書	エッセンシャル発生生物学、羊土社、Jonathan Slack 著 大隈典子 訳 ISBN978-4-7581-0709-9 2009 年 原著：Essential Developmental Biology 3rd Edition ISBN 978-0-470-92351-1 2013 年 ギルバート発生生物学、メディカルサイエンス・インターナショナル、阿形清和、高橋淑子 訳 ISBN978-4-89592-805-2 C3047 2015 年					
予習・復習について	各回につき、講義ノート、資料を参照して復習すること。					
成績評価の方法・基準	対面授業が可能となった場合は出席確認を兼ねて毎回、復習のための小テストを実施する。この小テストと本試験 1 回の成績を合計して理解度を評価する。対面授業が可能で無い場合は期末試験のみにより評価する。					
オフィスアワー	月曜日 7・8 時限（2 時 25 分・3 時 55 分）を予定					
担当教員からのメッセージ	本講義を履修することにより動物の発生の分子機構の概略とその共通性と多様性が理解できるようになると期待している。					

授業科目名	生化学 (Biochemistry)					
担当教員名	天野 豊己 (AMANO Toyoki)		所属等	学術院理学領域		
			研究室	総合研究棟 721		
分担教員名						
クラス	理学専門科目	学期	前期		必修選択区分	必修
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	火 1・2	
キーワード	タンパク質、アミノ酸、代謝					
授業の目標	生体を構成する分子の構造と機能が分かるようになり、それらがどのように結びついているのかが理解できるようにする。					
学習内容	生体内における酵素反応の分子機構について、タンパク質の構造と機能の両面から解説する。またタンパク質科学の実験方法についても解説する。					
授業計画	回 内容 1 生化学とは 2 生体物質 3 アミノ酸の種類 4 アミノ酸の物理化学的性質 5 タンパク質の構造 6 三次構造、四次構造 7 酵素 8 酵素反応 9 k_m と V_{max} の使用法 10 速度論における阻害剤の効果 11 精製法の概要 12 細胞破碎と遠心分離 13 クロマトグラフィーの原理 14 クロマトグラフィーの組み合わせ方（オンデマンド型によるオンライン授業） 15 電気泳動					
受講要件	特になし					
テキスト	プリントを配布する。					
参考書	ヴォート基礎生化学 第5版(東京化学同人、ISBN 9784807909254)、ストライヤー生化学（第8版）(東京化学同人、ISBN 9784807909292)、細胞の分子生物学 第6版（Newton Press、ISBN 9784315520620）、など。					
予習・復習について	復習を中心にしっかりと学習を進めて欲しい。					
成績評価の方法・基準	特別な事情のない限り 2/3 以上の出席を評価対象とし、成績評価は期末試験で判断する。					
オフィスアワー	質問は適宜受け付ける。不在に備えて amano.toyoki@shizuoka.ac.jp に連絡が望ましい。					
担当教員からのメッセージ	生物科学の基礎になる科目です。しっかりと理解をしてください。					

授業科目名	植物系統分類学 (Plant Systematics)					
担当教員名	徳岡 徹 (TOKUOKA Toru)	所属等	学術院理学領域			
		研究室	理学部 A 棟 517			
分担教員名						
クラス	理学専門科目	学期	前期		必修選択区分	選必
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	水 3・4	
キーワード	被子植物、系統、形態、進化					
授業の目標	地球上には非常に多様な植物が生育している。この多様な形態や、この多様性を生み出した進化を理解できるようにする。					
学習内容	被子植物は地球上におよそ 25 万種ある。これらを進化の順序に従って整然と分類することを目標に研究者は植物の様々な形態から始まり DNA データまでを詳細に観察してきました。これらの知見を紹介し、様々な植物それぞれの特徴を学び、現在見られる膨大な多様性を生み出した進化がどのように起こったのかを考える。					
授業計画	回 内容 1 ガイダンス：分類するとは？ 2 学名の命名と種問題 3 系統解析の基礎 1：系統解析の原理 4 系統解析の基礎 2：最節約法 5 系統解析の基礎 3：系統を考える上で必要な知識 6 系統解析の基礎 4：その他の解析方法 7 陸上植物の大進化 1：コケ植物 8 陸上植物の大進化 2：シダ植物 9 陸上植物の大進化 3：裸子植物 10 陸上植物の大進化 4：被子植物 11 被子植物の進化 1：分類体系 12 被子植物の進化 2：原始的被子植物群 13 被子植物の進化 3：単子葉植物 14 被子植物の進化 4：真正双子葉植物 15 講義の振り返り（オンライン授業）					
受講要件	特になし					
テキスト	特に指定しない。資料は随時配布します。					
参考書	Plant Systematics: A Phylogenetic Approach, Walter S. Judd (ed.), Sinauer, 2002, 0878934030 被子植物の系統、田村道夫、三省堂、1974、BN01321887 (NCID)					
予習・復習について	関連する事項について、参考書などを活用して予習・復習するようにしてください					
成績評価の方法・基準	授業中の小レポート（20％）と期末試験（80％）により評価する					
オフィスアワー	特に定めていないが、随時受け入れます					
担当教員からのメッセージ	植物には様々な特徴があります。その特徴はすべて進化によって生み出されてきました。この進化が理解できるように授業を進めていきたいと思います。					

授業科目名	こころの深層 (The Depth of Mind)					
担当教員名	太田 裕一 (OTA Yuichi)		所属等	保健センター		
			研究室	工学部 7 号館 3 F		
分担教員名						
クラス	情工	学期	前期		必修選択区分	選択
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	金 3・4	
キーワード	アニメーション、物語分析、象徴解釈、臨床心理学、精神分析、民俗学、映像分析、歴史学、哲学、宗教学					
授業の目標	教員に与えられた問題に対する解答に早く到達するのではなく、学生が自分自身で「問題」そのものを発見することができるようになること、講義の目的といった自明に思えることを疑う批判精神を身につけることを目指します。					
学習内容	主にアニメーションを題材にし、製作者の意図は一旦保留にし、そこに表現されている物語構造、象徴表現などを、臨床心理学、民俗学、社会学などの新たな角度から解釈し直します。					
授業計画	01. 「アルプスの少女ハイジ」のフラクタル構造 02. 「となりのトトロ」におけるファンタジー 03. 「パンダコパンダ」と異類婚 04. 「千と千尋の神隠し」と異界 05. 「おジャ魔女どれみ」と少女の成長 06. 「おジャ魔女どれみ」と情緒的恒常性の確立 07. 「秒速 5 センチメートル」における幻想の北関東 08. 「ほしのこえ」と世界の移行 09. 「デジタルモンスター ぼくらのウォーゲーム」における隠された主題 10. 「ポケットモンスター」と不死身の身体 11. 「鬼滅の刃」と物語構造 12. 「魔法少女まどか☆マギカ」と罪悪感 13. 「君の名は。」と解離／否認 14. 「この世界の片隅に」と婚姻儀礼 15. 「言の葉の庭」における誘惑のモチーフ（オンデマンド） タイトルはあくまで仮題です。旬なアニメを取り入れたり、皆さんの毎回のレポートの希望を取りいれたりしながら適宜、変更します。					
受講要件	すべての講義に出席し、毎回出されるミニレポートを提出する意欲のある人。つねに新たな視点を模索しようとして試みようとする人。					
テキスト	特になし。					
参考書	久能徹・太田裕一「史上最強図解 よくわかるフロイトの精神分析」(ナツメ社)					
予習・復習について	アニメは講義で視聴しますが、レポートで細部を検証するために予習、復習として視聴することが必要になるでしょう。					
成績評価の方法・基準	講義ごとに Teams のチャットから毎回ミニレポート提出(400 字以上)、学期末の最終レポート(2000 字以上)、講義への積極的な参加姿勢で評価します。評価におけるミニレポートと最終レポートの割合は基本は 50%:50%です。最終レポートが提出できるのはミニレポートを 10 回以上提出している人に限ります(遅延提出可です)。イラスト、自作音楽、歌ってみた等、動画(講義紹介、MAD、MMD、手書きアニメ、ゆっくり実況等)の投稿、カメラオンでのコスプレ(本人の許可なくネットに投稿禁止)、講義の雑誌、ネットラジオ等への投稿(「ラブライブ！ μ's 広報部」「sprite/fairys RADIO 緒方恵美と妖精の国」)、Twitter での実況推奨(最多実況者には副賞あり)。投稿は講義放映を前提とします。					
オフィスアワー	質問等は Microsoft Teams のチャットで随時受け付けます。					
担当教員からのメッセージ	講義には twitter のハッシュタグ(#kokoronos)を設定しネット実況を奨励します。ねとらぼからの転載で Yahoo!ニュースに掲載されました。アニソン、ボカロ曲のリクエストを募って講義中に講師が弾き語りをを行います。新鮮な視点を提供してくれる受講生の方をお待ちしています。					

授業科目名	浜松市の交通と観光を考える (Thinking about Hamamatsu City from Public Transit and Tourism)					
担当教員名	戸田 三津夫 (TODA Mitsuo)		所属等	学術院工学領域		
			研究室	工学部 4 号館 406		
分担教員名	武田 和宏、西原 純					
クラス	情工	学期	前期		必修選択区分	—
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	金 3・4	
キーワード	人口減少、コンパクトシティ、モビリティ革命、脱炭素社会、地方創生、観光振興、浜名湖、CASE、SDGs					
授業の目標	少子高齢化は少なくとも今後 20 年は止められない。人口減少、脱炭素が叫ばれる中 CO2 排出実質ゼロ、内燃エンジンの使用制限など、浜松市をとりまく環境は激変する。これを乗り越えるには何が必要か。この講義では、政令指定都市となった浜松市が、行政の効率化を実現し自動車に頼らなくてもよい社会を実現するためにコンパクトシティと公共交通の拡充、観光振興を目指すビジョンを考える。選択肢として、世界各都市で導入が進む LRT や運輸連合があることを理解する。講義の最終回までに、自由な発想で今後の浜松や日本の未来を創る提案を考えるとともに活発に議論し観光体験することを通して、浜松の産業とインフラについて深く考える。					
学習内容	浜松をとりまくさまざまな状況:産業や交通、観光の歴史、技術開発、エネルギー、経済、環境に関する事柄を学ぶ。それを踏まえて将来の浜松市を予測し、想定される問題点をいかに解決してゆくべきかを考え、交通と観光を軸とした都市デザインを個々の受講者が自ら考え、改善案を発表しあい意見交換する。					
授業計画	回 内容 1 講義内容とスケジュールの紹介、日本と浜松の交通史、浜松の発展史 (戸田) 2 日本と浜松市の現状と将来予測、JR 東海超電導リニアについて (戸田) 3 動力の歴史と交通(人力、風、家畜、エンジン、モータ)、社会的共通資本としての交通 (戸田) 4 交通がもたらす災い:社会的費用:交通事故、環境被害 (武田) 5 浜松の交通政策・遠州鉄道バスのサイクルアンドバスライドの取り組み (西原) 6 浜松・浜名湖の観光 (浜松・浜名湖 DMO、鈴木氏) 7 世界で活躍する LRT:その機能と可能性 (栗田) 8 浜松型次世代交通システムの提案 (内田) 9 浜松型次世代交通システムのデザイン (河岡) 10 浜松と日本の未来を語る (座学最終回:受講生によるアイデア、プランの発表と討論) 11 10 回目終了前後の休日に、受講者の希望を反映した浜松周辺の観光ツアー(日帰り)を残し講義 5 回分(7.5 時間)として実施します。早めに調整しますが、6 月後半から 7 月上旬の土日の予定をなるべく空けておいてください。 12 13 14 15					
受講要件	浜松市政や地域振興に問題意識のある諸君の受講を歓迎する。都市の運営や計画に関心のある人、地元公務員志望、乗り物だいすき、自動車産業就職希望者、自転車乗りなども歓迎。					
テキスト	特に定めません。					
参考書	テーマが多岐にわたるため、各自で探して下さい。静大附属図書館にも交通や都市運営の関連書籍を用意しました。浜松市城北図書館、特に浜松市中央図書館郷土資料室は一度は利用してみて下さい。各種統計情報なども役立ちます。					
予習・復習について	日常生活の中で問題意識を持って下さい。自転車交通、高齢者の交通事故、インフラの維持、新東名道、リニア中央新幹線、東南海地震、富士山噴火、地方財政逼迫、2020 年以降は COVID-19 などさまざまなことが関係します。ツアー企画の計画立案に備えて浜松の観光に関する下調べもしておいてください。					
成績評価の方法・基準	期末試験は行いません。各自の最終提案とツアー実施報告をまとめた期末レポート(80%)、講義ごとの提出物など(20%)で評価します。					
オフィスアワー	特に定めません。メールで直接あるいはアポイントをとってから来て下さい。					
担当教員からのメッセージ	来るべき社会は若者にとって楽観できるものにはならないと予想されます。生産人口が全人口に占める比率が低下し若者の政治的発言力も相対的に弱まります。将来の日本と浜松を的確にとらえ、最善の道を考え実現するきっかけとなるような授業を目指します。講義方法については適宜学情システムにて連絡します。					

授業科目名	生物と環境 (Life and the Environment)					
担当教員名	戸田 三津夫 (TODA Mitsuo)	所属等	学術院工学領域			
		研究室	工学部 4 号館 406			
分担教員名	佐野 吉彦、佐藤 一憲、宮崎 さおり					
クラス	情工 1	学期	前期		必修選択区分	—
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	火 1・2	
キーワード	生命誕生、大絶滅、気候変動、脱炭素社会、生物資源利用、生物多様性、バイオーム（生物群系）					
授業の目標	ヒトは膨大な地球上の生物種の中の一つにすぎない。科学研究の成果から、「地球のすべての生命が起源を同じくする兄弟である」ことが分かっている。また、ヒトはヒトだけで生存できない。ヒトの個体もヒト細胞だけでは成立しない。実際にはヒトの体は微生物の方が多いくらいの多様なバイオーム（生物群系）である。また、害が強調されやすいウイルスもヒトの進化に必要だった。進化は行きつ戻りつし、ひたすら分化する一方方向のものではない。したがって、ヒト自身を理解するためにも生物や生命を理解する必要がある。この講義を通して、ヒトとしての自分を客観的に見て、自らが世界の中でどのような存在であるか思いを馳せる能力を獲得することを目指す。					
学習内容	地球史、生命史、人類史を通して、生命が辿ってきた道を知る。たった一種の生物であるヒトがどのように登場し、現在の繁栄を手にしたか、また、ヒトが何を行ってきたかを知る。さらに、ヒトの行動を再評価して未来への指針を考える。					
授業計画	回 内容 1 地球と生命の誕生:生命とは、生物とは？ バクテリアと藻類の時代:小さきものがたちが環境に適応し、環境を改変した（戸田） 2 カンブリア爆発、大絶滅、生物の上陸（戸田） 3 地球の営みと長期気候変動、スノーボールアース（戸田） 4 古生物の時代、恐竜の時代から哺乳類の時代へ（戸田） 5 生物の絶滅と分化、淘汰と進化（宮崎） 6 ヒトの関与:農業拡大による生態系の攪乱、人新世の始まり（戸田） 7 ヒトの関与:生物資源の利用、生物の改良と家畜化（戸田） 8 ヒトの関与:ヒト文化の中の生物（戸田） 9 ヒトの関与:生物とのせめぎ合い:直接的な脅威、害虫との戦い、感染症（戸田） 10 ヒトの関与:近代以降の攪乱:過大な捕獲圧、環境破壊、侵略的外来生物（戸田） 11 ヒトの関与:近代現代の生物絶滅、生物多様性、気候変動、プラスチック問題（戸田） 12 生態系を数学で解く(前編)(佐藤) 13 生態系を数学で解く(後編)(佐藤) 14 生物を利用した新たな産業（佐野） 15 元素の誕生とエネルギー:宇宙史の中での生物とヒト（戸田）					
受講要件	地球史、生命史、人類史、環境問題に深い関心を持つこと。					
テキスト	特に定めません。あらゆる資料、情報を使ってください。					
参考書	おびただしい数の参考資料がどんどん出ているので挙げきれません。静大附属図書館、浜松市図書館、書店、その他の情報源から適宜情報を得てください。					
予習・復習について	毎日の生活(衣食住)が予習・復習の契機となります。生命、生物、生態系、生物を取りまく環境を意識して生活しましょう。					
成績評価の方法・基準	期末試験は行いません。期末レポート(60%)、講義ごとの提出物など(40%)で評価します。課題の内容を評価しますので、全出席+レポート提出のみでは高評価とはなりません。レポートには【前提(適切な問題提起と目的)、材料(データ)、的を得た考察、妥当な参考資料リスト】が必要です。					
オフィスアワー	特に定めません。メールで直接あるいはアポイントをとってから各教員のもとに来て下さい。					
担当教員からのメッセージ	この講義を通じて、自分がこの世に存在すること、祖先と自分と子孫、地球環境などに思いを馳せることができるようになってほしいと思います。新型コロナウイルス感染予防対策の状況により、対面授業ができない可能性もあります。毎回の講義の実施方法などについては登録者に適宜連絡します。					

8 払込取扱票 記入例

払込取扱票																			
00		口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。																	
口座記号										口座番号（前記で記入）								金額	
0 0 8 4 0 — 4										9 8 7 2 5								〇 〇 〇 〇 〇 〇	
静岡大学										料金		備考							
市民開放授業 9,700円× □件＝ ●●●●円科目番号 ■■, ■■, ■■ 6,900円× □件＝ ●●●●円科目番号 ■■, ■■, ■■ 合計 〇〇,〇〇〇円 △△△ - △△△△ △△△△△ △△△△△△△△ △ △ △ △ △ 様 (ご連絡先電話番号) △△△ - △△△ - △△△△																			
日 則 印																			

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)

これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

0 0 8 4 0 — 4										9 8 7 2 5							
静岡大学																	
〇 〇 〇 〇 〇 〇																	
△△△△△																	

この受領証は、大切に保管してください。

(注意) ①赤文字の箇所にご記入ください。

②各授業の科目番号および受講料は、「市民開放授業科目一覧」(P20)に記載されています。

■記入上の注意

- ◇受講する科目数を□に記入し、受講料と掛け合わせた金額を●部分にご記入ください。
- ◇「市民開放授業科目一覧」を参考に、受講する科目の科目番号（左列）を■部分にご記入ください。複数ある場合は、「,」「,」などで区切ってください。
- ◇算出した合計金額を○部分にご記入ください（3箇所）。計算が間違っていないか、必ずご確認ください。
- ◇△部分にご自分の郵便番号、住所、お名前をご記入ください。記入がないと、どなたからの入金が分かりませんので、忘れずにご記入をお願いいたします。
- ◇振替払込請求書兼受領証は、受講証が届くまでなくさないように保管してください。

2023年度（前学期）静岡大学市民開放授業 受講申込書

国立大学法人 静岡大学長 殿

※裏面の注意事項を必ず確認し、身分証明の写しを貼付すること →

住 所	〒		
ふ り が な			性別(どちらかに○) 男 ・ 女
氏 名	印		
生 年 月 日	(西暦) 年 月 日 (歳)		
電 話	(携帯) (自宅)		
E - m a i l メールアドレスをお持ちの方は必ずご記入ください。 未記入の場合はメールが届きません。	(フリガナ) (メールアドレス) ※英数字等区別しにくいものは丁寧に書きください(例:「0」(ゼロ)と「o」(オー)、「1」(イチ)と「l」(エル)など)。 ※休講等の連絡をメールで送信しますが、他に学生向け情報も配信されますので、あらかじめご了承ください。 ※携帯メールの方は大学からのメールが受信できるように設定をしてください(発信アドレス: gakujo@adb.shizuoka.ac.jp)		
職 業	会社員・自営業・無職・主婦・学生・その他 ()		
最 終 受 講 歴	2022年度後学期 ・ それ以前 ・ 初めて (あてはまるもの1つに○)		

※承認印をもらう前に、市民開放授業科目一覧に掲載されている科目番号と受講科目を正確に記入してください。

科目番号	受講科目	担当教員氏名	授業曜日・時限	担当教員承認日	担当教員承認印 (またはサイン)
			曜日 時限	/	
			曜日 時限	/	
			曜日 時限	/	
			曜日 時限	/	
			曜日 時限	/	

上記授業科目を受講したいので、裏面の注意事項に同意のうえで、申し込みます。

以下大学側記入欄

受講の登録受付日	講習料の納付日	受講証の交付	
		(受講証番号)	(交付日)
		(学籍番号)	

(注) 受講生の個人情報に関しては、細心の注意を払い、市民開放授業の申込みの確認、市民開放授業に関する連絡、今後の大学の市民向け事業のご案内に利用させていただきます。

注意事項

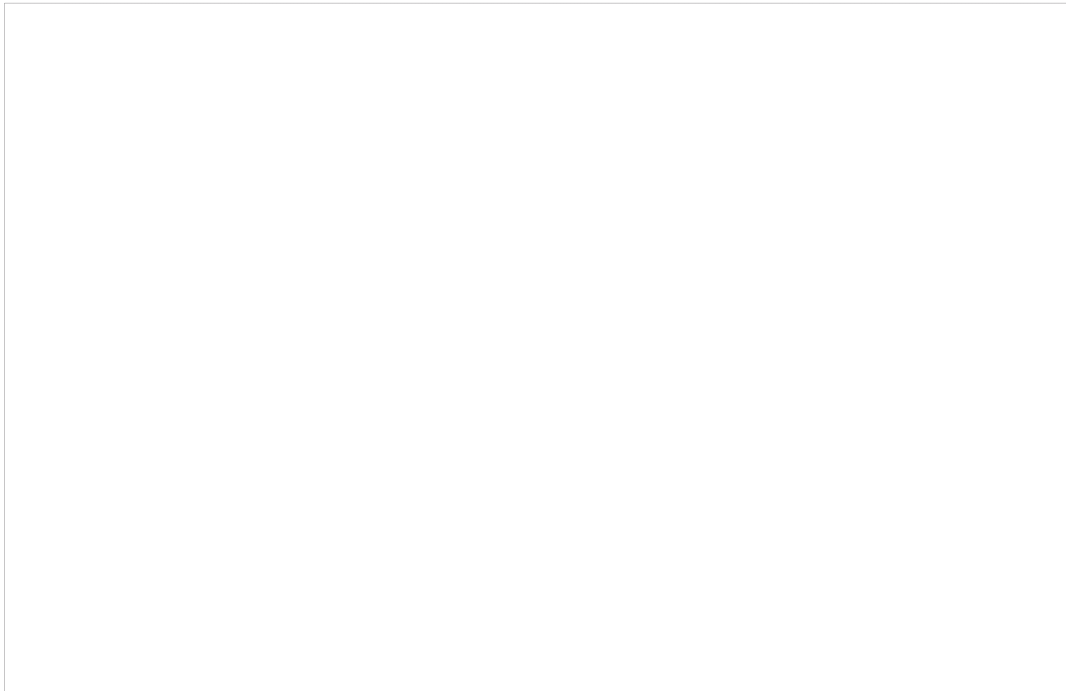
市民開放授業の受講生は、受講にあたり、以下のことを遵守してください。

また、このことにご同意いただける場合のみ、受講をお申し込みください。

- 一、 受講にあたり、静岡大学が行う教育、研究活動、及び事務運営に支障が及ぶことがないようにするとともに、教職員の指示に従う。
- 一、 前項に反し、受講生としてふさわしくない言動及び静岡大学の秩序を乱す行為があった場合は、受講を停止されても甘受する。その場合、納入した講習料の返還を要求しない。
- 一、 静岡大学の施設、設備等を故意又は不注意により破損したときは、その損害を賠償する。

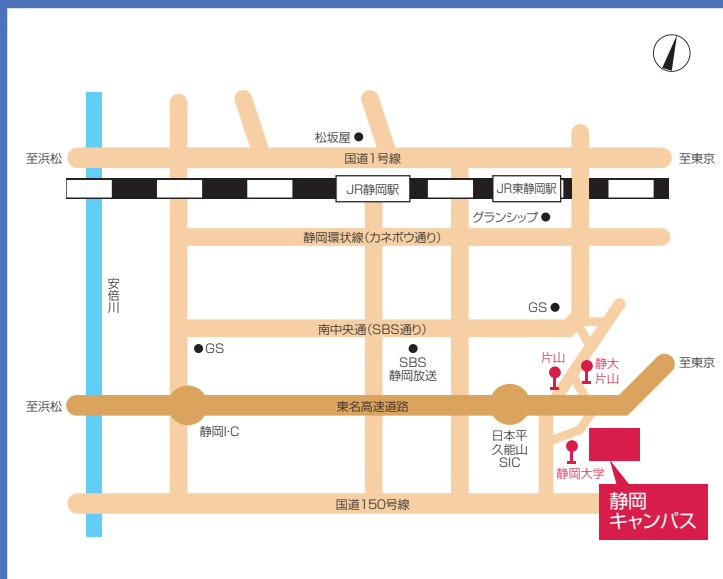
以上

身分証明貼付欄（氏名、現住所が確認できるものであること）



■静岡キャンパス

人文社会科学部・教育学部・理学部・農学部・グローバル共創科学部・地域創造学環
〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836



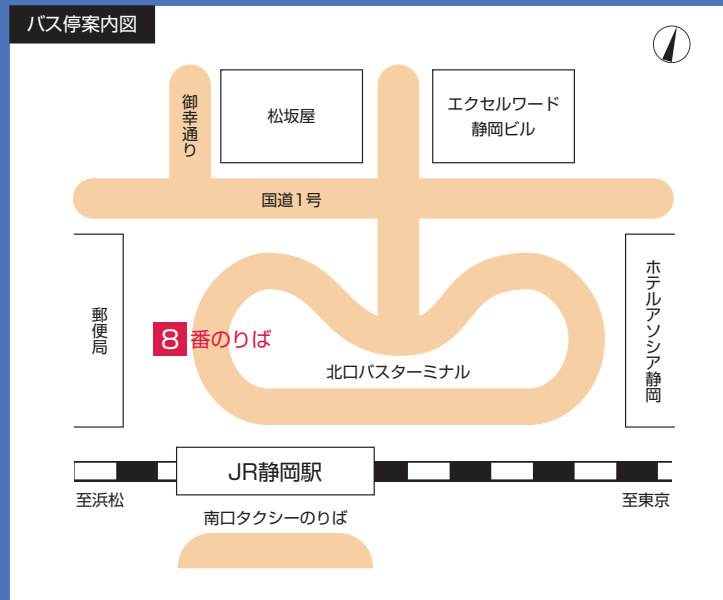
■浜松キャンパス

情報学部・工学部

〒432-8011 静岡県浜松市中区城北 3-5-1

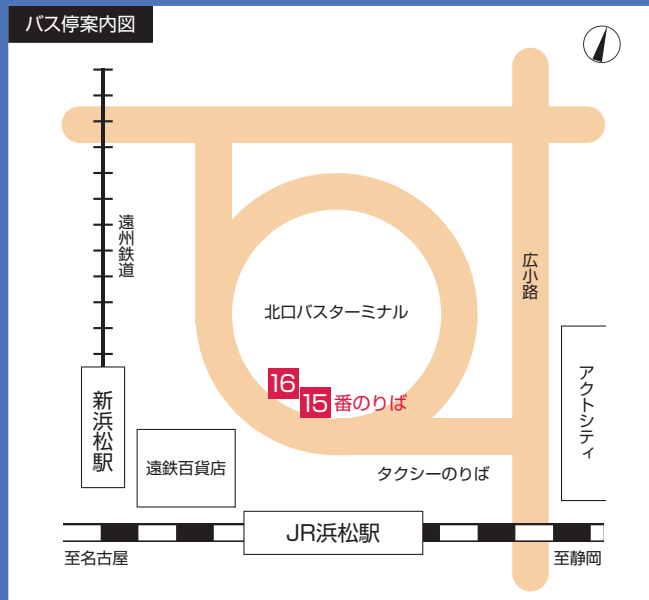


バス停案内図



1. JR静岡駅北口してつぎバスラインバス8番乗り場から、「静岡大学」または「東大谷」、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行きに乗りし、「静岡大学」または「静大片山」バス停下車(所要時間約25分、1時間に5〜7本運行)。※静岡駅午後発の「東大谷」行きバスは「静岡大学」バス停を経由しないため、「片山」バス停で降りてください。「片山」と「静大片山」バス停は位置が異なりますのでご注意ください。
2. JR静岡駅からタクシーで約15分。

バス停案内図



1. JR浜松駅北口バスターミナルより、遠州鉄道バス15番または16番乗り場から乗車し(全路線)、「静岡大学」バス停下車(所要時間約20分、1時間に10本程度運行)。
2. JR浜松駅からタクシーで約10分。



静岡大学地域創造教育センター

Education Center for Regional Development

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL: 054-238-4817 [平日9:30~16:00(4/12~4/25のみ、9:30~16:30)] FAX: 054-238-4295

E-mail: kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp https://www.Lc.shizuoka.ac.jp/